

平成28年度

きずなトーク

議事要旨

議事要旨についてのお問い合わせ先

北区政策経営部広報課広聴担当

電話（3908）1102

# 目 次

1. 王子地区 .....	1 頁
日 時：平成28年10月21日（金）午後 2 時～ 3 時	
場 所：北とぴあ	
テーマ：○回覧板や掲示板の有効活用について	
○町会・自治会の担い手づくりについて	
2. 滝野川地区 .....	19 頁
日 時：平成28年10月27日（木）午後 3 時～ 4 時10分	
場 所：滝野川会館	
テーマ：○コミュニケーション活動の活性化について	
○町会・自治会の担い手づくりについて	
3. 赤羽地区 .....	39 頁
日 時：平成28年12月8日（木）午後 2 時30分～ 3 時50分	
場 所：赤羽会館	
テーマ：○町会・自治会の担い手づくりについて	
○志茂地区における多世代の助け合いの仕組みづくり	

## 平成 28 年度 きずなトーク（王子地区）議事要旨

- |        |  |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 平成 28 年 10 月 21 日（金）午後 2 時～3 時   |
| 2. 場 所 | 北とぴあ 9 階 901 会議室   |
| 3. テーマ | ○回覧板や掲示板の有効活用について<br>○町会・自治会の担い手づくりについて など                                 |
| 4. 出席者 | 区長、政策経営部長、広報課長、地域振興課長、<br>地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）、<br>王子地区町会自治会連合会常任理事（15 名） |

### 1. 開 会

#### ◎広報課長

皆さん、こんにちは。おそろいですのでただいまから「きずなトーク」を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

私は、本日司会を務めさせていただきます、広報課長です。いつもお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは始めに、区長から、開会のご挨拶をさせていただきます。

### 2. 区長挨拶

#### ◎区長

皆さん、よろしくお願いいたします。

本日は、常任理事会の中の貴重なお時間をいただきましたけれども、このような場を設けることができましたことを、心より感謝を申し上げます。

日ごろから、A連合会長様を始め、王子地区町会自治会連合会の常任理事の皆様におかれましては、北区に対しご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

北区では、「地域のきずなづくり」を区政の最重要課題の一つとして、地域のつながりを深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けた、さまざまな取組みを進めております。そのさらなる推進のためには、地域のコミュニティの核となる、皆様のお力が不可欠であります。

そこで、今年度より北区町会自治会連合会の皆様から、「地域のきずなづくり」や、今後の区政に関するご意見・ご提案をお伺いするため、王子・赤羽・滝野川の3地区ごとに、「きずなトーク」を開催させていただくことといたしました。

本日は、その最初の地区となります。限られた時間となりますが、皆様の日

平成 28 年 10 月 21 日  
きずなトーク（王子地区）  
議事要旨

ごろの活動状況などとともに、活動を通じた課題など、また忌憚のないご意見をお伺いできればと考えております。

北区では、「区民とともに」を基本姿勢に、これからも皆様とともに歩む区政に努めてまいりますので、どうぞより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

どうぞ、今日はよろしく願いいたします。

### 3. 出席者紹介

区長、政策経営部長、地域振興課長、地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）

### 4. 意見交換・情報交換

#### ◎広報課長

それでは、次第に従いまして、意見交換・情報交換とさせていただきます。なお、本日、皆様にお話しいただいた内容につきましては、議事録を作成し、要旨を公開させていただきます。公開場所ですが、各地域振興室のほか、広報課また区政資料室、北区ホームページなどでご紹介させていただく予定です。

なお、発言された方のお名前につきましては、匿名とさせていただくとともに、本日、記録用に職員が写真を撮らせていただきますので、ご了承のほどよろしく願いいたします。

では、本日の意見交換・情報交換の進め方でございますが、本日はせっかくの機会でございますので、ご参加いただいた皆様全員からお話を伺いたく存じます。

お話しいただくテーマでございますが、9月の常任理事会でいただきましたさまざまなご意見・ご提案を踏まえ、回覧板や掲示板の有効活用、また町会・自治会の担い手づくりに向けた取組みや課題ということの基本とさせていただきますけれども、それ以外でも結構でございます。今回は、多くの町会・自治会様の担当者様がお集まりになり、区長と意見交換していただく場ですので、他の町会・自治会様の参考になりそうな取組みや工夫、また今後、取り組んでみたいことなど、ご提案・ご紹介をぜひお聞かせいただければと存じます。

では、大変恐縮でございますが、こちらの方から指名させていただきます。B会長から、もしございましたら、よろしく願いいたします。

#### ◎B会長（豊島四丁目町会）

2つ目のテーマの、町会・自治会の担い手づくりについて、発言させていただきます。今、豊島地区におきましては、運動会とか地区の大きな行事のときに、明桜中学さんをお願いして、子どもたちにお手伝いしていただくようなことをしています。ただ、お手伝いいただくだけでなく、やはり区から働きかけ

ていただいて、きっかけを与えないと出てくる子どもたちも少ないので、例えば、単位をあげるとか、成績を 4・5 にするなど、子どもたちにもメリットを与えるような、きっかけをつくっていただきたい。

我々、町会・自治会からではどうにもならないことなので、区から学校に働きかけていただいて、一応ボランティアの時間みたいな感じで、出席した人には単位をあげるとか、そのようなことも一つの考えではないかと思えます。

「手伝ってください」と先生に言われたりすると、そのときだけ対応してしまうことも多いと思うので、メリットがあれば、自ら進んでやろうかなという子も出てくるのではないかと考えております。以上です。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

では、お時間の関係がございますので、席順でお願いいたします。

### ◎C 会長（東十条四丁目町会）

私、リサイクラーの活動を頑張っております。コンテナステーションを一週間に 1 回、金曜日にコンテナを出して、土曜日の朝はその分別をやっておりますと、まちの汚い箇所が気になってきまして、そっちの方まできれいにしようと、どんどん欲が深くなって、掃除をするところが広がってくるのです。

それをやっていると感じるのが、雨の降った次の日は、道路に水たまりが結構できるんです。水たまりができると、そこへタバコが捨てられるのです。それまで掃除すると、2、30 分かかってしまうので、道路の凹んでいるところをもう少し平らにして、水はけがいいようにしていただくと、掃除する手間もなくなるし、まちが非常にきれいになるのではないかと、思うことがあります。

先日、コーヒーを飲んでいたときに、私の隣の席しか空いてなくて、ママと小さい子どもが入ってきましてね、とてもかわいいから「かわいいですね」って声をかけたら、ママは非常に喜んで機嫌がよかったです。実は違う区にいたんだけど、北区がいいということで来て、今日、保育園に行ったら早速もう合格になって。やはり、区長が日ごろから「子育てするなら北区が一番」、「長生きするなら北区が一番」と、本当にいいスローガンで、そのとおりに徐々に実っていくような気がしました。

もう一つのスローガンとして、オリンピック・パラリンピックも 2020 年にもう予定されておりますので、まちをきれいにするというのを、第三のスローガンとしてやられたらいかがかなと思いました。世界が注目するオリンピックですので、やはり環境面をきれいに、東京が非常にきれいで、まちもきれいなら北区が一番。これを第三の柱としてやられたらいかがかなと考えております。北区は汚くてだめだよなんて言わないで、やはり 5 年、10 年先を見込んで、東京都北区が発信するというのでやられたらいかがかなと考えております。

以上でございます。

平成 28 年 10 月 21 日  
きずなトーク（王子地区）  
議事要旨

### ◎広報課長

C 会長、ありがとうございました。

では、続きまして D 会長、お願いいたします。

### ◎D 会長（十条仲原 2・4 丁目町会）

回覧板と掲示板の件で 2 件だけ。

回覧板を町会で回しているのですが、配布するとまたすぐ次の回覧板が来てしまう。1 回来たら 2 日目にまた別の回覧板が来るのでは、回す地域の人たちが大変だから、何とかならないかという意見がありました。回覧板は、区の広報物だから、協力してくださいとは言っているのですが。

また、掲示板について、掲示できるスペースには限りがあるますから、A 3 ぐらいの大きなものが来ると、貼る場所がなくなってしまうのです。

あと 2 番目に、町会・自治会の担い手づくり。お祭り等には一応協力するけれども、町会に顔を出すのは、まだもう少し時間をくださいなんて言われることがあるのですが、そういう方たちも何とかお祭り等々の町会の行事を通して、町会に協力してもらおうように、今、進めております。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

では、E 会長、お願いいたします

### ◎E 会長（豊島三丁目町会）

私、今現在、町会長をやって 7 年半なのですけど、5 年後 10 年後というのは、誰が町会長をやってくれるのかと、すごく真剣に考えています。

今現在、我々の町会の役員というのは、副部長、部長以上です。大体 25 名いるのですけど、平均年齢が 65 歳から 70 歳。場合によっては 70 歳をちょっと超えるかもしれない。元気な人は 80 歳の方がいますが、定年制にしたらどうだというけど、そんなことができたならみんななくなっちゃうよということで、スムーズな世代交代が必要なのですけれど、何とか 40 代、50 代の現役世代の人が、何とか町会に入ってほしいなという願いをいつも持っております。

この悩みとか願いは、他の町会でも考えられておりますので、私どもとしてはこの辺で失礼させていただきます。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

それでは、区長、コメントありますか。

### ◎区長

先日、北区民意識・意向調査をやったのですよね。その結果を公表しましたが、皆さん見られましたか。3 年前の調査に続いて、今回も約 8 割の方から「北区に愛着がある」・「北区に住み続けたい」とのお答えをいただいたところがあります。一方、「区政参画または地域活動に参加したことがある」との回答は、たったの 1 割半ぐらいになっているんです。その理由は「家事や仕事が忙しく

て時間がない」「参加したくても活動するきっかけがない」というのが上位を占めているんですよ。前回に比べて、「興味がない」という回答が増加しているかなといったところです。

実は、今月、北区の「きずなづくり月間」なんです。誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けて、区民の皆さんと一緒に考え、そして取り組んでできる、その地域への関心・興味を持っていただくための活動を、これからも積極的に展開をしていかなければいけないなど、感じているところでありますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### ◎広報課長

では、F 会長、よろしく願いいたします。

#### ◎F 会長（都営王子 6 丁目アパート自治会）

本日お招きいただきまして、ありがとうございます。

先ほどから皆さんがおっしゃったように、私も町会・自治会の担い手はいないとか、それから回覧板とか掲示板のことはいろいろありますけど、私も北区に住んでもう 50 年以上になります。しかもこの王子に住んで 42 年以上になります。それで私（の自治会）は都営住宅 1 棟のところで、約 300 世帯います。ここで私 40 何年住んでいますと、自治会をやってないのはほとんど 1、2 年だけで、役員をずっとやっております。会長をやっておりましたり副会長をやっておりましたり、青少年委員もずっとやっております。それから今、先ほどおっしゃった、リサイクラーもやっております。それから清掃のほうの協力。防火助成も、A 連合会長とはよくあちらこちらにお会いしております。

それで、先ほどどなたかおっしゃいましたように、自治会・町会の役員のなら手がいらっしゃらないのです。私のところも、多分平均年齢にしたら 75 歳、70 歳以上の方たちが多いかと思えます。越してくる方は母子家庭の方か、たった一人で越してくるんですよ。もう 80 歳ぐらいの、ほとんど女性が多いですけどね。そういう方たちの自治会をやっていくというのは、本当余裕じゃないですよ。

もし、区のほうで何らか援助をいただければ幸いかなと思っております。以上でございます。

#### ◎A 連合会長（上十条三丁目町会）

大体共通している、担い手づくりについては、どうのこうのといったときに、今、区長は何となく回答をしてくれたでしょう。要は、興味ある活動をしなきゃいけない。王子地区は、活性化委員会というのをつくりまして、どうやって若い人たちを吸収しようかってやっているんですからね。その問題はちょっと我々の中でやる問題で、区政にお願いするという問題ではないから、そのところの質問はなし。

#### ◎広報課長

では、G 会長。

### ◎ G 会長（王子一丁目町会）

区長さんは、公用車で移動するから、電車に乗る機会があまりないのかなと思います。乗降駅は王子駅ですよね。区長さんは、北区に来て 50 何年。以前は、赤羽にお住まいだったですね。赤羽には、あんなにいっぱい何かあるけれども、王子駅は何であんなに変わらないのかと思っているんですよ。要望じゃなくて、なぜあんなに変わらないのか。

地下鉄が通って、赤羽の駅より J R と地下鉄の駅をすごくそばにつくっていただいたことは、非常に僕らも評価しております。ただ、今ホームの問題、いろいろと駅そのものの問題、やっぱり区として、J R に要望していただきたい。もちろん今、王子駅周辺のランドデザインの検討委員会もやっておりますけれども、区が、王子の駅をもうちょっと何とかしてくれないかとか、短期的、中期的、長期的にちゃんとビジョンをつくって、駅に要望を出さないと、変わっていかないのではないかなと。

後出しじゃんけんみたいに、J R はまちが変わってから、やっとな変わっていくというけれども、随分、乗降客が増えているのに、ホームはもうずっと昔のままだし、本当に残念だと思っています。だから、そういったことも区の要望として出せるのであれば、出していただきたいというのが、地域住民としての気持ちです。

もう一つは、質問です。駅前の土地は、昔の地図を見ると、バスターミナルとかタクシー乗り場は、昔は民間の土地で、今は東京都の管理ですよ。

田舎の駅みたいで、僕らは、バスターミナルだとかタクシー乗り場があそこになくてもいいのではないかと三角公園や駅前公園のあたりに移って、そこで乗降客が移動していったりして、駅に駅ビルができるとか、区としても、計画していただけたらうれしいなと思います。

僕らが一番要求できるとしたらやっぱり区なものですから、ぜひ実現というか、計画していただくように、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

### ◎ 区長

今、G 会長さんのお話、やっぱり動かすのは地元なんです。地元の皆さんの要望が区を動かすか、都を動かすか、国を動かすか。それなのです。だから区はどうすることもできない。皆さんが大きな声を出していただくことが、一つなんです。王子だってすごく変わって、高速道路も地下鉄もできましたよ。僕がこの王子に来たときは何もなかった土地に、それでもできたわけですから、これから、どうしていったらいいかというのは、皆さんがやらなきゃだめですよ。それで区を動かしていくとか、都を動かしていくと。

### ◎ G 会長（王子一丁目町会）

昔は民間の土地だった王子駅前が、現在は東京都の土地になっているわけじゃないですか。だから、不思議だって。



協議会とかそういったものを立ち上げるとは思っておりますから、協議会をつくりまして、要望を出していきたいと思えます。

**◎区長**

はい、じゃあお願いします。

**◎広報課長**

では、H会長、お願いいたします。

**◎H会長（王子本町一丁目町会）**

今までマンションはほとんどなかったのですが、最近うちのほうにマンションができて、昔は1棟そのまま町会に入ってもらってたのですよ。ところが最近、何か1棟そのまま入ってくれるということは少なくなっちゃって、その後、今度は回覧板に困っているのです。

例えば、30軒の中に2、3軒しかない場合、回覧板をどうしてももらったらいいかとか、そういうことです。それが今、ちょっと悩みの種です。

それと、他の方がおっしゃったように、回覧板がやたらに多すぎる。それと掲示板も多すぎる。掲示板、いろいろなパンフレット。それでサイズもまちまち。これは困りますよね。

それと、次の町会・自治会の担い手についてなのですが、うちの町会が、今、力を入れているのは青少年部ですが、お勤めの若い方に青少年部長になっていただいて、それを我々がバックアップする方法でやっているんです。そのおかげで、いろいろ青少年部の事業で、それも子どもとか若い人たちが出てくれるようになっております。

だから、いかに勤めの人を早く入れて、それを我々の誰かがバックアップしていく方法にもっていかないと、これから成り立たないのではないかと思います。

以上です。

**◎区長**

王子本町さん、見本になってやったださるので、本当に、今、マンションは難しいですから。

**◎H会長（王子本町一丁目町会）**

そうです、難しいですね。

**◎広報課長**

ありがとうございました。

では、I会長、よろしくお願いいたします。

**◎I会長（上十条自治会）**

私が住んでいるところは、集合住宅のために高齢者が非常に多くなっています。それで回覧を回しても、なかなか上に上がらないとか、戻りが遅いとか、そういう問題があります。

それから、区から来る、掲示板に貼るポスターですけど、内容を見ますと、

平成 28 年 10 月 21 日  
きずなトーク（王子地区）  
議事要旨

これは必要ないのではないかと思うような内容が終始ありまして、係の方にはあまり意味がなかったら回さなくていいよというようなことで、その段階でとめています。これは経費をかけてせっかく作っているものですから、全員の方に見てもらいたいというのはわかるのですが、先ほど言いましたように、高齢者にあまり意味がないような内容が結構あります。

あと、町会・自治会の担い手なのですけれども、大体 1 年に 1 件ぐらい孤独死がありまして、区のおかげで見守りリストを作成した段階なのですけれども、あまりしつこく行くと、うちはもう大丈夫だから来ないでくれという意見もあります。それから、行かなければ行かないで、姿が見えないので訪ねてみると、介護施設に入所しているとかという、そういう年寄りのつき合いがなかなか希薄になっていることはあります。

今、問題になっているのはそのようなところ です。

以上です。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

J 会長、お願いします。

#### ◎J 会長（十条仲原 3 丁目町会）

まず、回覧板や掲示板の有効活用についてです。

うちの町会は全 500 世帯のうち、420 世帯が町会に入っている、小さな町会です。

我が町会は掲示板が 5 か所しかなく、昼間は活動できるのが私しかいないので、今日、掲示をしてきたのですが、5 か所で 1 時間 40 分ぐらいかかりました。今日は A 3 が 4 枚、A 4 が 4 枚貼ったのですけれども、A 3 だと 8 枚まで貼れる大きさの掲示板です。

あと、回覧板は月 3 回、北区ニュースの 1 日号、10 日号、それから 20 日号の 3 回に区切って回覧しています。若干、遅れる回覧も出てくるのですが、それはやむを得ないと考えています。

それとマンション。我が町会には、5 階建のマンション 1 棟しかないのですけれども、各階に回覧板を回すようお願いをして、やってもらっています。

次に、町会・自治会担い手づくりについてです。

実は、9 月 29 日頃、青少年活動やまちの行事など、10 数項目、お手伝いできる方の登録をお願いします、というような回覧を出しました。

そうすると、お祭りはほとんどの家庭が賛成してくれたのだけれど、その他の項目になると、なかなか担い手がなくて。

実は反対しながら、5 名登録してくれたので、それを何とか町会で役員にと、考えています。あと何カ月かたったら、また回覧を改めて回したいなと考えております。

ちょっと雑駁過ぎましたが、以上です。

## ◎広報課長

ありがとうございます。さまざまなご意見ありがとうございました。

これから副会長、会長に順次お聞きしたいと思いますが、これまでさまざまなご意見・ご提案・ご質問が出ましたので、ここで1回、区の出席者からお話をさせていただきたいと思います。

## ◎政策経営部長

皆様にはボランティアという形でいろんな活動をしていただいて、本当にありがとうございます。とても助かっておりますし、町会がなければ本当に成り立たないと思っております。

コメントができるものだけコメントをさせていただきます。

B会長様からお話しいただきました運動会ですが、北区内でこんなに町会や地域の運動会がやられているのはすごいですね。豊島の運動会など、いくつか回らせていただいたことがありますけれど、本当にみんな真剣にやっていて、素晴らしいなと思っているのですが、そこに明桜中の子どもたちが参加しているということなので、とてもいいお話だと思いました。

防災でも何でも、昼間いるのは中学生だということも含めて、中学生にもっと地域の防災力を手伝ってもらおうというか、学校を通じていろんなことをやっていこうというような形にもなっております。単位をあげるというのはなかなか難しいかなとも思いますけれども、何らかの形で学校と連携していくというのは、できるのかなと思っています。

次に、C会長様からの「まちをきれいにするなら北区が一番」というスローガンですが、先日、小学生と区政を話し合う会と中学生モニター会議に、区長さんと一緒に出させていただいたのです。そこでも、小・中学生から、北区のまちが汚いとか、トイレが臭いとか汚いとか、そういう意見が多くありました。子どもたちのほうが、トイレもまちも歩いたりしているので、気がつくようで、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、北区にいろんな方が来ていただく中で、まちやトイレをきれいにしてほしいというお話もいただきました。

スローガンについては、なかなかどうするかというのはありますが、駅前のトイレや何かはできたらきれいにして、外から来た人たちが喜んでもらえるような形にできないかと、区長と話をしております。

王子の件は、G会長から意見をいただきましたが、さっき区長が申しあげましたように、これから地域と一緒にやっていきたいということと、王子駅が都心の中で、取り残された駅にならないように、北区の核となる駅のうちの一つですので、何とかしてもらいたいということは、JRに今までも申しあげておりますが、今回のグランドデザインの中でも、また強く言っていきたいと思っております。

あとは、回覧板と掲示板と担い手づくりについてだったと思います。

先ほど区長が話しました、区民の意識・意向調査の中で、「北区の情報をどうやって知りますか」という質問で、一番多いのは北区ニュースなのですが、今年から回覧板をチェック項目に入れたところ、掲示板と回覧板という回答の比率が結構高かったのです。ということは、北区ニュースもそうですけれど、掲示板・回覧板を見ていただいている方、そこから情報を取っていただいている方が結構いるのだなということ把握いたしました。

### ◎区長

トイレは外国人も来ますけれども、やっぱり洋式のトイレが欲しい。において汚れが気になるので、まず、赤羽・王子・田端の駅前のトイレを、日本で一番きれいなトイレにしていきたいと思っています。ほかの自治体でも手がけ始めていますから、負けずにやらなければいけないなど。だから日本一という、スローガンのようなものを皆さんで考えてほしいです。

まずは、駅のトイレからやります。

### ◎地域振興課長

それでは、回覧板と掲示板の話について私から、担い手づくりの関係は、「地域のきずなづくり担当副参事」からお話しさせていただきます。

掲示板につきましては、たしか 10 年ぐらい前に、区でつくる掲示物、いわゆるポスターですけれど、全庁的に A 3 判以下で作成するように指導をしたことがございます。

ただ、それ以降、もしかしたら、区の所管課でつくるものが、すべて A 3 判以下になっているのかどうかというチェックも、少しずつ薄れてきているのかなと思いますので、ここは全庁的にも統一させていただきたいと思います。

それから、公共機関、国や東京都、あるいは公益団体から掲示物を貼ってもらいたいといった依頼が、外部の団体や、その外部の団体と交流のある所管等を通じて、地域振興室に配られるケースもあると思います。かなり大きいポスターもあると思います。その辺については、各町会さんでも、自分の住んでいる地域と関係のない、あるいは余り公益的ではないようなものまで貼る必要はないのではないかと、かなり無駄も多いかと思えますし、取捨選択していただいて、貼らないものも出てきているのかなと思います。

それから、毎年行っている事業でも、初めてやる事業と、初めて知りたい情報、例えばごみの収集がいつあるかなど、生活に関わる情報は当然必要だと思うのですが、周知のごとく既にわかっている情報というのは、削減できる範囲で、どんどん整理していかなければいけないかなと思っています。

回覧については、回覧板の班を組んでいる方々の高齢化が進んでくると、回覧板が最後まで回っていかないというお話もよく伺います。そうした取組みも含めて、やはり掲示・回覧のあり方については、区としても、よく実態を踏まえながら、検討していかなければいけないと思っています。

### ◎地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）

担い手の育成につきましては、私からお答えいたします。

担い手の育成につきましては、今、A 連合会長からもお話がありましたとおり、王子地区の活性化委員会の中でいろいろと取り上げていただいていると、大変、力強いお言葉をいただき、ありがとうございます。

北区で把握している数字として、平成 26 年に実施した町会・自治会対象としたアンケート調査で、「新たな担い手の必要性」について、「必要としている」という町会・自治会が、答えてくれた 180 個のうち、155 個という、大変高い数字が出てまいりました。

その中で「（担い手の）育成を行っている」という回答をいただいたところは 109 個でした。それぞれ町会・自治会様で、いろいろとやっていただいていると考えてございます。ただ、区としても、担い手の育成で、例えば研修など、何かできることを考えているところでございます。ただ、こういった研修がいかということ、やはりこのまちの方々のご意見等を頂戴しながら、進めていきたいと思っております。

また、北区では地域円卓会議ということで、町会・自治会とか青少年地区委員会を交えた会議を、今年度から開催をさせていただいているところでございます。そういった中で、若い世代を町会・自治会で取り込んでいくにはどうしたらいいか、会長の皆様と一緒に、真剣に考えていきたいと思っております。

以上、私からお答えをさせていただきました。

### ◎広報課長

ありがとうございました。では、区からご回答をさせていただいたり、ご意見申し上げさせていただきましたが、引き続き、副会長・会長様から、ご意見・ご提案をいただければと思います。

まず K 会長様、よろしくお願いたします。

### ◎K 会長（豊島八丁目町会）

私のしたかった話をみんな言われてしまったので、同じことになってしまうところもあるのですけれども、一番気がついたことは掲示板です。

私の町会は 1,514 世帯、掲示板は 13 カ所あります。女性一人が事務をやっています、

先ほどお話が出たとおり、紙の大きさがいろいろ違いますので、必要ではないものは外すというお話もありましたけれど、それは大変いいことですね。どうしても町会で貼らなければいけないのは大概わかるんですけれども、私も今度から、いらぬものはもうやめて、ほかの大切なものをどんどん貼っていこうかなと思っております。

以上でございます。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

では、L 会長、お願いします。

**◎ L 会長（堀船三丁目町会）**

掲示板の関係で、実は、私どもの町会で、落語寄席を 3 回ほどやっているのです。町会会館で、今回で 4 回目の落語寄席をやるのですが、ポスターを掲示板に貼らせてくれとお願いされていますが、貼らせておりません。掲示板は区役所のもので、区の事業、あるいは町会関係の行事、区報など、そういうものを掲示することとしているので、断っていますが、実際どうなのでしょう。この落語をやる人が前座で、林家一門の方で、3、4 人ぐらいでやるらしいのですよ。それで、私は別に、社会の秩序に反するようなものとか、公益性を欠けるようなこともないと思うのですが、そういうポスターはどんなものですかね。

**◎ 地域振興課長**

東京都北区掲示板設置要綱という要綱がありまして、その中では、掲示板にこの貼付できる印刷物の範囲というものの中で、町会・自治会で地域住民に周知を必要とするものという、ちょっと一つ逃げのような項目がございます。ただ、その落語というのが、例えばその落語家さん個人が、自分を売り込みたくてやるとか、あるいはお金をとってやるとか、私的な要素の強いものはいかなものかと思えますし、逆に無料で、皆さんどうぞいらっしゃいということで、地域福祉のためにやるようなもので、それが非常に皆さん喜んでくれているようなものであれば、それはそれで違うものかなと思えますので、ちょっとその辺の状況等を見ながら、やはりご判断は必要なかなと思えます。

**◎ L 会長（堀船三丁目町会）**

そうですか。わかりました。

以上です。

**◎ 広報課長**

ありがとうございました。

では、続きまして、M 会長、お願いいたします。

**◎ M 会長（東十条五丁目町会）**

最初に、要望事項ということで、J R に関することを二つ、区長にお願いしておきたいと思えます。一つは、毎年、連合町会のまちづくりに関しての要望事項にしてきた、東十条の南口のバリアフリーの問題で、J R は協力してくれないということを理由にして、当初、北区が立ち上げた構想が、ある意味でとん挫しているような話を聞きました。それで、いずれにしても、エレベータ等を設置して、東十条の南口の利用を、バリアフリーですね、実行することは喫緊の課題だと思いますので、何としても実現のために、J R を説得してご努力をお願いしたいというのが、これが一つ。

それから、J R 関連の問題でもう一つ。私が担当している町会は東十条五丁目なのですが、これは鉄道線の騒音問題ということで、騒音問題については、

昔、新幹線の問題が起きたときに、北区としても公害の調査をして、2年か3年にわたって環境調査ということで、鉄道線騒音問題のデータを出したことがあったと思います。

鉄道側の方で幾つか準備をしていただいて、対策を練っていただいた時期があったのですが、このところ、実感として、物すごく鉄道線の騒音が高くなったと思います。特に、鉄道線に即した地域を持っている岸町とか、東十条の地域もそうなのですが、この側道の、沿道の沿線ですね。沿線の地域の騒音は、ぜひ調査をしていただいて、基本的なデータをまとめていただきたいなと思っています。

なお、もう一つつけ加えますと、下十条電車区というのが東十条駅のところに設置されているわけですが、この電車区が、始発電車から物すごい騒音を上げるテストをするのです。これの騒音テストをする場所が、東十条五丁目のほうに伸びてきたということがありまして、朝午前4時ごろから物すごい音を出す。要するに、ブレーキテストみたいな甲高い音を出すのです。これについても、私はぜひ一度チェックを加えていただきたいなと思っております。

簡単に話をしますが、掲示板については、とても役に立っているものだと認識しております。まちのお年寄りたちも、掲示板の前で井戸端会議をしているようなシーンもよく見受けられます。数が多くて困るというのは、そのとおりなのですが、私は公営掲示板あるいは町会の掲示板で、掲示板を賄ってきているのですが、公営の掲示板の設置箇所数を、うんと増やしたいという考え方をしております。担当の部局に聞いたところ、年間、各町会に1カ所か2カ所ぐらいの予算は考えているのだというところですが、ぜひそういう箇所数を増やす場合と、老朽化した掲示板を取り替える場合について、速やかに対応していただけるように、予算づけのほうを十分にお願ひしたいと思っています。

それから、貼りだす中身ですが、町会の事業に関するものについては、積極的に活用できるようにさせていただいていると認識しております。

続いて、担い手の問題では、今年の5月、うちの町会の総会では、役員というか班長さんというふうに呼んでいるのですが、この班長さんに、5人ぐらい40代の女性と男性になってもらうことにうまく成功しまして、そのうちの半分ぐらいの方が、運動会やお祭りのときに出てきて手伝ってくれる状態になりました。共働きで忙しいというパターンではあるのですが、何度もおつき合いしていただくようになって、そのうちの一人がパソコンの仕事をやっているものだから、今度、活性化委員会でも議論した中身なのですが、町会のホームページの立ち上げをしていただくことをお願いするようにしました。町会のすべての活動を日常的に周知できる、広報手段にしていければと捉えています。

平成 28 年 10 月 21 日  
きずなトーク（王子地区）  
議事要旨

以上です。

**◎広報課長**

ありがとうございます。

**◎区長**

M会長、昭和2年に架けられた十条跨線橋なのですけれども、平成19年度に実施した調査において、耐震強度の不足により架け替えが必要と判明しました。そこで、この橋梁の架け替えを実施するとともに、東十条駅前の広場の整備や駅バリアフリー化の整備を行うためにJRと調整を進めてまいりました。しかし、平成27年度、28年度に鉄道施設への影響検討調査を行った結果、橋梁の架け替え及び駅前広場の新設については、JR施設への影響や列車運行の安全確保などの問題が発生するため、実現が困難であることが判明いたしました。そこで、駅前広場については、十条跨線橋との一体整備は行わず、喫緊の課題である老朽化した橋梁の架け替えを最優先に実施していくことに決めたのです。

**◎政策経営部長**

ちょっと補足させていただきます。

十条跨線橋の架け替えは喫緊の課題で、耐震上もよくないということが判明しておりますので、最優先には考えたいと思っています。それと一緒に、駅前広場整備と考えておりましたけれど、それを待っていると、なかなか進まないということもあって、とにかく架け替えを先行させようという考え方です。駅前広場について、決して区としても諦めているわけではないので、このままJRとは話を続けていくつもりです。

それとエレベーターについては、跨線橋の架け替えと同時にやっていくつもりです。ただ、駅の中のバリアフリーについては、JRに、区として申し入れているというような状況でございます。

なので、バリアフリーについては、跨線橋の架け替えと同時にやっていく計画であります。

**◎広報課長**

ありがとうございます。そうしましたら、もうお時間が間もなくということになってまいりましたが、最後、N会長、お願いいたします。

順にお聞きしてまいります。よろしく申し上げます。

**◎N会長（王子五丁目町会）**

回覧板と掲示板の件ですけれども、今お話ありましたように、かなり北区や町会・自治会の情報発信のためには、回覧板・掲示板が大変いいというアンケート結果があったと伺ったのですけれども、うちの町会でも、何人かでその掲示板を見ている方がいらっしゃるような光景を目にします。

最近の傾向としては、量がすごいですよ。順番で貼ったり、回覧したりするのですが、今では全部貼り切れないものもあります。日にちが近いものは



いつもあるし、すでに貼っているものは期限が来ないから外せないということで、溜まっている状況です。

また、私的な会社から、掲示板に貼らせてほしいという電話依頼が何件かあっても、官公庁以外は貼付できませんと断りしている状況です。

あと、A3の2倍3倍ぐらいあるような、すごく大きいポスターも貼れないですね。それを貼ると、他のポスターが貼れなくなるので、どうしようもないときに貼るようにしております。

もう一つは、多い状況の例として、掲示板に納まらず、はみ出して貼っているのがあります。A3より大きいのは、ちょっと勘弁してほしい。大きくても、効果は変わらないじゃないかと思います。

#### ◎広報課長

ありがとうございます。

では、〇会長様、よろしいでしょうか。

#### ◎〇会長（上十条一丁目西町会）

回覧板と掲示板の件ですが、毎週チラシが来るのですよね。役所で全部垂れ流しで、中身の検査はしていないのかなと思います。例えば、12月に開催するものが、10月にもう掲示板に貼ってくれとくるので、回覧板がすごく煩雑になってくる。どれを外してどれをつけかえたらいいのかということですね。ですから、これは何月何日に掲示して、何月に取り外してくれとか、そういう整理を役所でして、町会に回してくれると我々は非常に楽になります。大きさも、全部確認していただきたい。パンフレットによっては、裏表のポスター1枚で、どうやって掲示するのか疑問に感じるものもあります。中身も全部精査した後、町会におろしていただければ、町会としては非常に楽ではないかなと思います。以上です。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

では、最後となりますが、A連合会長、よろしく願いいたします。

#### ◎A連合会長（上十条三丁目町会）

町会長30年、いろいろ体験・経験をしました。

最近、区の職員に元気がない。いろいろな関係の部署と話し合いをしますが、特に若い者の意見・質問がない。これは何か原因があるのかなということで、区長に提案したいのは、目安箱を置いて、それで指導を部課長にするとか、いろいろ活性化を図るような動きがいかかじゃないかなと思いますけれど、いかがでしょう。

#### ◎区長

今の僕は14年目になるのですがけれども、がらりと変わりましたよ。職員の皆さんが、廊下を歩いてもみな声をかけてくれるようになりました。前は全然かけてくれない。名札も僕がつけるから、皆さん職員はつけるべきだというの

で、全員つけてくださいますよね。声も、皆さんお互いにかけてくれる。そういう面ではがらりと変わって、ああいなという感じを受けてやっているのですよ。

ただ、今のご意見は、1対1の場合のお話でしょう。

◎A 連合会長（上十条三丁目町会）

いろいろな案件の担当がいるでしょう。

係長もそのほかの職員も来るでしょう。そうすると、意見を聞いてもしゃべれないのです。

◎区長

それはA連合会長さんだからかなと思うのですよ。30年も町会長をやっているから、誰も言えないのではないかなと思いますよ。

◎A 連合会長（上十条三丁目町会）

それはそれとして、特に弊害になっているのは、パソコンを1日中打っている人も多いわけで、皆さんが元気はつらつと職務をやれるようしましょう。

区長が提唱する「協働」ができるように、我々も一生懸命頑張りますから、区長も、今日のお話を参考にしてください。

◎区長

もう本当に職員は一生懸命やっています。今、大変です。

A連合会長さんの場合は、やっぱり歴史がね、みんな生まれたばかりのときから町会長をやっているのですから。

◎A 連合会長（上十条三丁目町会）

時代の流れはあるけれども、やることは協働ですから。よろしくお願ひします。

それともう一つでおしまい。十条連合会の中にある北ノ台小学校が、今、全然活用されていない。それで、私が提案しているのは、元気な老人ホーム。

◎区長

具体的に、そういうことですね。はい、わかりました。

◎A 連合会長（上十条三丁目町会）

よろしく。

◎区長

はい、どうぞ、D会長。

◎D 会長（十条仲原 2・4 丁目町会）

まちづくり部から、不動産屋さんや建築関係の業者の方に、お願いをしてくれているらしく、我が町会では、新しく共同住宅4カ所、分譲や不動産業者から町会に入る場合の手続きについて、私に直接電話が来たり、まちづくり部から電話番号を教えていかと、直接連絡が入ったりするものですから、情報を提供しておきます。

**◎地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）**

ただいま、おっしゃっていただいた研修会ですけれども、「地域のきずなづくり担当」も経由して、お知らせをしております。実際、お知らせをしておりますと、どの程度効果が上がっているかというのは、なかなかわかり兼ねる部分もあったのですけれども、今、会長さんから、そのようにお話がございまして、励みになると思いますので、今後も充実をさせていきたいと考えてございます。ありがとうございます。

**◎A 連合会長（上十条三丁目町会）**

では、最後にどうぞ。

**◎政策経営部長**

では、北ノ台の件、とてもいい提案だと思っています。CCRCというようなことが、国でも言われていましたけれども、元気なうちに元気な高齢者の人たちと、子どもたちと、あるいはその人たちの生きがいと、そういうものができるような使い方を、北ノ台でできないかというようにお話をいただいています。

そのやり方としては、例えばサービス付き高齢者住宅であったり、有料老人ホームであったり、それといろいろなものの合築であったり、そこに若い人をどうやって入れ込んでいくとか、そんなことも含めて、これから考えていかなきゃいけない方向性だと思っています。ただ、今、北ノ台を利用されている方もいらっしゃると思いますので、そういう意味では、バランスを取りながら、きちんと考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

**◎A 連合会長（上十条三丁目町会）**

考えばかりしないで、進めていきましょうよ。

**5. 閉 会**

**◎広報課長**

皆様ありがとうございました。定刻の1時間あっという間でございました。ご協力ありがとうございました。

それでは、最後になります。区長から閉会のご挨拶を申し上げます。

**◎区長**

閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。本日は、皆さんからたくさんのご意見、まちづくりとか町会の回覧板とかございました。要望をいただきまして、誠にありがとうございます。

本日賜りましたご意見を、この北区の今後の区政運営に生かしてまいりたいと思っております。どうかこれからも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。皆さん本当に大変お忙しい中ありがとうございました。よろしく願い申し上げます。ありがとうございます。

平成 28 年 10 月 21 日  
きずなトーク（王子地区）  
議事要旨

**◎広報課長**

どうもありがとうございました。

以上

## 平成 28 年度 きずなトーク（滝野川地区）

- |        |  |
|--------|--|
| 1. 日 時 | 平成 28 年 10 月 27 日（木）午後 3 時～4 時   |
| 2. 場 所 | 滝野川会館 5 階 小ホール   |
| 3. テーマ | ○コミュニケーション活動の活性化について<br>○町会・自治会の担い手づくりについて など                                      |
| 4. 出席者 | 区長、政策経営部長、地域振興部長、広報課長、<br>地域振興課長、<br>地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）、<br>滝野川自治会連合会常任理事（23 名） |

### 1. 開 会

#### ◎広報課長

それでは、皆さん、こんにちは。おそろいいただき、ありがとうございます。只今から、「きずなトーク」を始めさせていただきます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます広報課長でございます。よろしくお願いをいたします。

それでは、まず始めに、北区町会自治会連合会長より一言ご挨拶をいただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

### 2. 会長挨拶

#### ◎A 連合会長（田端新町三丁目町会・東田端地区）

先ほどの常任理事会が終わりまして、引き続きまして、「きずなトーク」ということで、よろしくお願いたします。

本日は、今年度より始まりました「きずなトーク」の開催ということで、花川区長さんを始め、関係部課長さんにお越しいただき、誠にありがとうございます。

私ども、滝野川自治会連合会は 47 の町会・自治会が合併して、それぞれの会長のもと、力を合わせ、住みよい地域づくりに取り組んでおります。「地域のきずなづくり」の取組みとしては、私どもの東田端地区において、地域円卓会議というのを先行して実施しております。本日は、地域の円卓会議とは異なり、区長さんとの「きずなトーク」とありますので、せっかくの機会ですので、会長様方には、日ごろ各町会・自治会で行っている取組みや課題など、会長としての視点で、是非忌憚なく話をいただければよいと思っております。

本日は、先月の常任理事会で出されました『きずなづくり』に関するテーマ

平成 28 年 10 月 27 日  
きずなトーク（滝野川地区）  
議事要旨

を中心にお話をいただきたいと思います。午後 4 時までということですが、「きずなトーク」が意義あるものになるよう希望いたしまして、挨拶とさせていただきます。

では、よろしく申し上げます。

### 3. 区長挨拶

#### ◎広報課長

A 連合会長、ありがとうございました。

続きまして、花川区長から本日のご挨拶をさせていただきます。

#### ◎区長

皆さん、こんにちは。よろしくお願ひいたします。

本日は、常任理事会の中の貴重なお時間をいただき、このような場を設けることができましたこと、心より感謝申し上げます。また、日ごろから A 連合会長さんを始め、滝野川地区自治会連合会の常任理事会の皆様におかれましては、北区に対し、ご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

北区では、「地域のきずなづくり」を区政の最重要課題の一つとして、地域のつながりを深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けたさまざまな取り組みを進めております。そのさらなる推進のためには、地域コミュニティの核となる皆様のお力が不可欠であります。そこで、今年度、北区町会自治会連合会の皆様から「地域のきずなづくり」や今後の区政に関するご意見、ご提案をお伺いするため、王子、赤羽、滝野川の 3 地区ごとに「きずなトーク」を開催させていただくことといたしました。限られた時間となりますが、皆様の日頃の活動状況などとともに、活動を通じた課題など、忌憚のないご意見をお伺いできればと考えております。

北区では、「区民とともに」を基本姿勢に、これからも皆様とともに歩む区政に努めてまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。どうぞよろしくお願ひいたします。

### 4. 出席者紹介

区長、政策経営部長、地域振興部長、地域振興課長、地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）

## 5. 意見交換・情報交換

### ◎広報課長

それでは、次第に従いまして、意見交換・情報交換に入らせていただきます。

その前に一言ご了承いただきたいことがございます。本日、お話しいただきました内容につきましては、広報課で議事録を作成させていただき、要旨を公開させていただきます。発言者につきましては、匿名とさせていただきます。また、記録用として、職員が写真を撮らせていただきますが、ご了承のほど、よろしく願いいたします。議事録の公開場所につきましては、地域振興室、広報課、区政資料室、また北区のホームページを予定してございます。

それでは、本日の進め方をご説明させていただきます。本来であれば、お集まりの皆様全員からお話をお聞かせいただきたいところですが、4時までという限られた時間ということでございますので、地区とお役職ごとにご発言される方を割り振る方式で進めさせていただければと思います。

また、お話しいただくテーマにつきましては、先ほどA連合会長からございましたが、先月の常任理事会でのご意見を踏まえまして、今回、コミュニケーション活動の活性化、町会・自治会の担い手づくりということで、各自治会様の取り組みや課題をお聞かせいただければと思います。もちろんそれ以外でもございましたら、お出しただいて結構でございますが、他の町会・自治会様にも参考になりそうな取り組み、また、ご紹介したい事例など、また、今後、取り組んでみたいことなどにつきましても、是非、お聞かせいただければと思っております。

それでは、まず最初に、各地区の常任理事の方からご発言をお願いしたいと思います。こちらで決めさせていただきます恐縮でございますが、西ヶ原東地区から順にマイクをお回しいたしますので、各地区の代表お一人ずつ、お願いをいたします。

### ◎B会長（中里親睦会・西ヶ原東地区）

私たちの地域は、中里一丁目の1,000世帯、その3分の1が町会の会員になっております。自分のところも、少子化・高齢化で、町会活動も何となくやっているような状態なんですけれども、去年、一つの町会ではなかなかできないということで、隣の、中里二丁目にある中里親和会と合同で盆踊りをやったんです。そしたら、結構集まりまして、これはいいなということで、今年は、平塚神社のお祭りで、今度は、中里一丁目にある二つの町会も一緒に、三つの町会合同で、一つのおみこしを担ぎました。これが大変盛り上がりまして、終わった後、みんな仲よくなりまして、今度、俺に何か町会の役員をやらせてくれないかという声があるんです。一つのイベントが『きずな』をつくるんじゃないかと考えますと、なるべくいろんなイベントをやりたいと思っておるんですが、先立つお金がないんです。

平成 28 年 10 月 27 日  
きずなトーク（滝野川地区）  
議事要旨

そこをお願いなんですけれども、さっきの会議でも言いましたように、掲示物が大変多いんです。掲示スペースが少ない掲示板に掲示物が大変多く、町会の担当者も大変困っております。

私たちが年に 2 回、地域振興室から事務委託料をいただいております、非常に町会活動のプラスになります。まず、会費が少なくなるということが一番の問題でありまして、その委託料がプラス、それから、古紙・段ボール・新聞の集団回収もままとすると 30 万、40 万円になるんです。こういうもので町会費を補って活動しておりますので、できましたら、北区の事務委託料の単価を上げていただきたいという次第でございます。

以上でございます。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

続きまして、滝野川東地区、お願いいたします。

#### ◎C 会長（西大原自治会・滝野川東地区）

私の自治会は、行事をいろいろやっているんですけど、どこから来た人でも差別しないので、何をやっても、お祭りのときでも、大勢集まってくれるんです。自治会というのは、結構、行事も大きいのができるので、どこから来たお子さんだろうと大切にすることというのに努めております。

以上です。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

続きまして、滝野川西地区からお願いいたします。

#### ◎D 会長（谷津自治会・滝野川西地区）

私どもの自治会でも、若手の会員が最近育ってきたんですが、みんな昼間に職を持ってまして、なかなか町会の事務をやってくれる人は少ないんですよ。それはどこの町会も同じだと思いますが、いわゆるコミュニティ活動としては、盆踊りでも、祭礼の子ども会でも実に細めに、積極的にやってもらっています。先日も、滝野川西地区の 9 自治会が集まって、ふれあい館の文化祭をやりました。区長を始め、皆さんに来ていただいたんですが、こういう行事は大変評判がいいので、これからも続けていきたいと思っております。

以上です。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

続きまして、東田端地区から代表でよろしくお願いいたします。

#### ◎E 会長（東田端自治会・東田端地区）

町会・自治会の担い手づくりについて意見を申し上げます。

町会・自治会の役員は、従来、商店街の店主、その後継者で構成していたものです。近年、商店の減少または貸し店舗等の増加により、地元を愛する者が



低下していると思います。これに伴い、役員も定年退職者の割合が増え、加えて、管理組合を設置した大型集合住宅の増加により、町会・自治会への加入が減少しております。大型集合住宅の増加により、町会への加入の拒否、それから、ワンルーム型のマンション、外国人居住者の増加、定住をしない一時滞在的な世帯数等々の増加により、ますます地元への愛着度は遠のいていくのが現状です。

「町会費を払ってまで加入して、どんなメリットがあるの」というのが、返ってくる言葉なんです。有効な答えは非常に難しく、私たちでは、ちょっと答えが出せません。災害がこうだとか、盆踊りがあるからどうだとかというような言葉は、あまり積極性がないんです。そういうようなことで、ますます愛着が遠のいていくというのが現状だと思います。

問題なのは、加入者が減少している状況においては、次の担い手づくりが大変難しい問題です。定年退職者、会社勤めの方々ももちろん役員にはなっておりますが、身銭をこれ以上切らせてまで強制的に加入させられないというのが現状です。無償の社会奉仕には限界はないと思いますが、特に町会・自治会等の長は、365 日ともいっても過言でない活動しております。区長または他から任命を受けた選挙管理委員会等々の公職の方々も、相応の報酬があるようですが、地域から推薦を受けた長も、区長の任命制にしてはいかがかと思えます。そして、町会・自治会会長を公職と認めるべきではないかと思うんです。

町会・自治会の大変さと重要性をもっと深く認識していただきたいと思えます。

以上です。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

続きまして、田端地区からよろしくお願いたします。

### ◎F 会長（田端東部自治会・田端地区）

どこの町会も同じだと思いますが、非常に高齢化が進んでおまして、いろいろ業務をするのに大変困惑をしております。世帯数は 1,140 世帯おりますので、配付物でも非常に膨大な量になるため、ちょっと困惑しております。

一方、最近気がつきますのは、家を壊して建て替えるときに、貸し部屋にする方が多いわけですね。本人は大家で、余った部屋を貸し部屋にするのか、一括して、建築家に任せてしまい、建築家はまた管理者会社に任せてしまうので、本人は別なところに住んでいらっしゃる。だから、会員にならないんですよ。建売でも、ポストが 5 センチぐらいで幅が狭いので、回覧板なんか全然入らないような構造の家が多いわけですね。そういうことを建築課はどう考えていらっしゃるのか。強制ではありませんけれども、新築や改築の際、本人あるいは建築会社に、町会員になるべくなくて、地域に協力していただきたいということを言っていたらいい。私は、町会に協力するような体制で、建物をつくり上げて

いただきたいと思います。

それから、あと、掲示物が異常に多いということですね。区はもちろんのことですが、警察、消防署などから、A 2 ぐらいの大きさの掲示物が来ますので、どうしようもないんです。ですから、掲示板に貼るものは、A 4 から B 4 以下の大きさにしなさいといったふうに、サイズを統一してもらいたいですよ。特に警察、消防などは、シーズンになりますと、非常に大きい掲示物をつくって、さあ、どうぞと参りますので、非常に困惑をしております。

突然ですが、この二つの点をご披露させていただきました。

以上でございます。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

続きまして、昭和町地区からよろしくお願いたします。

### ◎G 会長（上中里中央自治会・昭和町地区）

今まで話された皆さんの意見、要望というのは、大体、同じだとは思いますが、すけれども、私が自治会の役員になったというのはサラリーマン時代で、ちょうど 40 歳のときでございました。役員の方たちは、上の方で私の母か、それから父とか、それぐらいの方たちの年齢だったんですね。高齢化が今、進んでいるというお話なんですけれども、実際に、私も今、67 歳になっちゃいまして、本当につらい立場にいるんですけれども、なかなか 40 代、50 代の人はお話しても、会社組織や何かで重要な立場にいらっしゃる方ですから、勘弁してくださいと、まずだめなんです。

いずれにしても、非常に役員のなり手が少ないというのが一つございます。そこを少しアドバイスというか、私は何度か区のほうで発行されているパンフレットみたいなものは見ているんですけれども、いかんせん、もう平均年齢が 70 歳を超えているような形になっておりますので、つらいところではございます。ただ、行事を通して、小学校の保護者の方たちとかにお話はしているんですけれども、実際に、お手伝いいただきますよという話はするんですが、なかなかそれが実にならないというところが一つございます。

また、私どもの「きずなトーク」で『きずな』ということからいいますと、今、昭和町区民センターで改修工事をしております。来年 5 月 15 日に再開することなので、自治会連合会の会長から、是非文化祭をやれと言われたんですね。先日、私が文化祭の実行委員長を務めまして、滝野川西さんのほうにお邪魔して、どうやっていらっしゃるのか、お話をしたんですけれども、これからいろいろ教わりながら、地区委員会や昭和地区自治会連合会の行事で、『きずなづくり』はしているんですけれども、さらに改めて区民センターの改修工事のオープニングに伴って、来年 10 月か 11 月になるかもしれませんが、いい文化祭をやっていききたいなと思っているんです。その辺の情報もいろんなところから聞いて、また、区のほうからも教えていただきながら、詰めていきたい

と思います。

全然意見、要望になっていないんですけれども、私どもの今の状況をお話ししました。失礼しました。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

ただいまの6地区の常任理事の皆様からご発言、ご提言をいただきました。ここで、一度、まとめさせていただきます、区側のほうからご回答を述べさせていただきます。

### ◎区長

個々には、部課長が今日来ていますから、部課長からやらせますけれども、先日、北区で、「北区民意識・意向調査」をやったんです。北区に愛着の話がございましたね、イベントをたくさんやればというようなことなんです、3年前の調査に続いて、「北区に愛着がある」、「北区に住み続けたい」とお答えをいただいた人が8割いる。本当にありがたいと思っています。

ただ、一方、「区政参画または地域活動に参加したことがある・ない」という回答なんですけれども、1割とちょっとぐらいしか参加していないんですね。ですから、今、イベントをやると、たくさん云々というようなお話もいただきましたけれども、その理由としては、「家事や仕事が忙しくて時間がない」、「参加・活動するきっかけがない」、それがもう上位を占めています。ですから、前回に比べて、「興味がない」との回答がまた増えているんですよ。

ちょうど今月は、「北区きずなづくり月間」なんです。これは、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けて、区民の皆さんと一緒にいろいろと考えて取り組んでいけるように、また、地域への関心・興味を持っていただくための活動をこれから積極的に展開していきたいなと思っています。

そこで、来年度から、町会・自治会加入促進啓発チラシやグッズを作成していきたい。また、町会・自治会活動支援のための講座を開催していきたい、そう思っていますので、また、ご協力をお願いしたいと存じます。

### ◎地域振興部長

こういった話をする機会が普段あまりないのが、気になっておりました。常任理事会はほぼ毎月やっていますけれども、打ち合わせのところがいろいろあり、それだけで1時間半ぐらいかかっちゃうので、それっきりになってしまうという状況があります。

お金の話と人の話を皆さんから今、改めて伺ったわけなんですけれども、お金の話については、「はい、わかった」とは言いづらいですけれども、「担い手をこれから発掘していかなくちゃいけない、そのためにどんなことをやったらいいのか」ということについては、共通の悩みじゃないかと思っています。

可能であれば、常任理事会の最後に自由に意見交換をする時間帯を少し設けておきますので、そういったときに情報の共有化をしたり、「うちではこんな

ことをやったらうまくいった」という成功事例をご紹介いただいたりしてみました。と思っております。そんなことを検討させていただきたいと思いました。

もう一つは、お集まりの皆さんを始めとして、各町会・自治会を背負っていただいている方々が、いつの日か、違う人に交代していく時期が来るだろうと思えます。「そのときをどのように準備するか」ということも、担い手という意味では大きな課題になっているということだと思えます。今年の 2 月、町会・自治会の広報に関するセミナーをやったことがあります。案外大勢の方が集まってくれました。割と評判もよかったと思っております。必ずしも町会長とか自治会長の皆さんではなく、町会・自治会で広報とか宣伝、ニュースをつくらったり、そういったチラシをつくらしたりしている方も多かったと思えます。

私があるときに思ったのは、各町会にいろんな専門部があると思えます。広報、防犯とか防災。その専門部の名前は違うかもしれないけれど、やっていることは似通った部分があると思えます。そういった専門部の方だけを中心に集まる場をつくってみるのも、一つの方法なのかなと思えました。

あと、もう一つは、各町会の役員さんの中で、ベテランの方もいれば、なりたての方もいらっしゃる。そういうキャリアによって、思うことや悩みは違うだろうと思うので、例えば、各町会の役員さんのなかで、一番最近役員になられた方が集まる場は今までなかったと思うので、そういう場をつくって意見交換をしたり、「自分がどんなことをやっている」みたいに交流する方法もあるのかな、と思ったりしています。

今までやっていないことで、こういうことをやったらいいのにとすることは、私ども考えなくちゃいけないんですけども、また考えて、ご提案、ご相談をさせていただきたいと思っております。

### ◎区長

今日、滝野川地区で最初ですから、これからまた何遍もやっていきますので。

### ◎地域振興課長

掲示板につきましては、先般行われました王子地区町会自治会連合会さんとの「きずなトーク」でもやっぱり同様の意見が出ております。会長様からご指摘いただいているとおり、確かに大量に掲示物のご依頼、あるいは回覧のご依頼といったものが届いているかと思えます。それも依頼しても、取捨選択を余儀なくされるケースが多くて、やはり地域の皆さんに関連の深いものを、優先順位をどうしてもつけざるを得ないという状況を伺っております。

区からの掲示物につきましては、来年度以降、これから今後、少し精査できるものは精査して、できる限り負担を軽減するような方向で持っていければというふうに検討させていただければと思っております。

以上でございます。

### ◎地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）

ただいま部長からもお話を申し上げましたように、次代の担い手の育成につ

きましては、大変大きな課題であるということは各会長さんからもご意見を頂戴しているところでございます。ただいま実施をしております「地域のきずなづくり」推進プロジェクトの中で、今年度も、研修につきましては計画をさせていただいているところでございますが、やはり計画していない、皆様のニーズに合った研修というのも実施をしていくことは大変重要なことであるというふうに考えてございます。そういった中で、北区町会自治会連合会の常任理事会等でご意見を頂戴しながら、積極的に推進をしてまいりたいと、このように考えてございます。

### ◎政策経営部長

一言だけ。財政を預かっておりますところから少しだけお話しさせていただきます。本当に皆さん方が北区を支えていただき、本当に頭が下がるということで、いつもお願いばかりで申しわけありません。最初にお話がありました、地域振興部長からも話しましたが、今、お金の件については、本当に今ここで「はい、わかりました」となかなか言えませんが、皆様ご苦労されているのは非常によくわかっております。事務委託料も何年かに1回は、若干ですけれども、上げさせていただいていると思っておりますけれども、今後とも十分考えていきたいと思っております。

また、町会長の任命制ですけれども、やはり町会は任意団体ということで、区の下部組織じゃないんだというようなお話は基本としてあるのかなと考えますと、なかなか任命制というのも難しいのかなということもございしますが、任命制ということに限らず、やはり皆様方のご負担を何とか解消できるような、担い手も含め、考えていきたいと思っております。

ありがとうございました。

### ◎広報課長

各地区の常任理事の皆様からのご質問、ご意見等に対しまして、区からのご回答をさせていただきました。

続きまして、四役の中から4名ほどご発言をお願いしたいと思います。

### ◎H会長（馬場自治会・滝野川東地区）

今日のテーマ、「コミュニケーション活動の活性化について」、「町会・自治会の担い手づくりについて」などということでした。

まず、私の地域で、名簿をつくれないう状況で、情報の伝達がどの程度できるのかな、電話番号もわからない人たちにどうやって知らせるのか。そうすると、掲示板あるいは回覧板ですね。私どもの町会では、10日に1回ずつ、役所あるいは警察から来た情報を掲示板なり回覧板に回すことは必ず回していますが、見てくれるかどうかはわからないんですね。

行事をやる場合、私どもの伝達方法としては、広報車を町会で持っていますので、必ず行事・イベントがあるときの1時間前には、町内会を2、3回広報車で回り、そして参加を呼びかけるので、広報車が回らない月というのは全く

ないんですね。特に、安全・安心のまちづくりの中で、振り込み詐欺とか、そういうものがありますので、月 2 回はその広報をします。それから、安全・安心パトロールという形で、週 2 回、スピーカーを持って歩きながら広報活動をして回ります。そのほか、いろいろな交通安全運動週間、防犯、生活安全運動の期間とか、あるいは、防火週間にしても、来月の 11 月 9 日から 1 週間ありますけど、やはり歩いて回ったり、夜回りをしたりという形をとります。

そうやって、町の安全・安心を図っているんですが、町の人たちはどのぐらい関心があるのか、先ほど区長さんから、関心度、この安心・安全なまちだということで、8 割の方が「北区に住んでよかった」という実感されているというのは、やはり区の「長生きするなら北区が一番」、「子育てするなら北区が一番」ということで、子育てのしやすい町、あるいは長生きするならば、高齢者に対して優しい、見守り活動の充実した北区というような形で、いろいろな施策をとっていただいているおかげだと思います。

私ども、地域のコミュニケーションづくりとして、町会の会館があります。その会館を利用して昔は葬儀や何かもたくさんあったんですね。最近、密葬が非常に多くなっているので、この密葬を何とか減らして、あるいは、それと同時に各駅の近くに駅前ホールとかができて、そちらで葬儀をやるような形になる。そうすると、高齢化している人たちが歩いてそこまで行く、あるいは車やバス、電車に乗ったりしていくというのが、ちょっと遠方になると、足が遠のいてしまう。逆に、あの人には世話になったけど行かれないというような形になってしまう。ですから、できるだけ町会の会館を使って、できるような形に進めていきたい。そして、安くて安心してできる葬儀ができるよう、区で区民葬もあるでしょうけれども、もう一つ、地域に踏み込んだ形のものを考えていただけるとありがたいかと、一つは思います。

また、私どものほうでは、新聞を年に 3 回、子どもたちの行事やお年寄りの旅行、交通安全とか地域生活安全とか防災訓練とか、いろんな行事を通じて、写真を含めて、記事をつけて意見等も載せながら、年 3 回出しております。ですから、町会費をいただいて、還元できることとして、自治会でやっていることをきちっと伝えられることが、私どもの責任かなということ。私どもは、町会は会費をとるけど、何をやっているのと言われたときに、ちゃんと行事報告を年 3 回やっていますということが言える。そういう町に今なっているので、よそ様から何か言われたときには、あるいは、新しい人が町に来たときには、馬場新聞を渡して、うちはこういう活動をしていますので、是非参加してくださいという呼びかけも行っております。

そんなところで、40 年前に会館をつくって、もう古びてきて、いつ直そうかと思って、来年度の予算に新しい会館を入れてもらうべく、地域振興課にはお願いをしています。そういう意味で、「地域のきずなづくり」、あるいは、終末を迎えたときに、そういう地域の人にお線香の 1 本上げてもらえるような場

所を、是非、区のほうでも年に一つか二つか、わかりませんが、自治会館を作るための予算を毎年組んでいただいているということは大変ありがたいと思っています。私どもも、来年は是非、その恩恵にあずかりたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

以上です。

◎**広報課長**

ありがとうございました。

◎**区長**

ありがとうございます。お葬式は、昔、会館で確かにやっていたね。それで、町内の方々もお手伝いして、若手のせがれさんだとかお嫁さんが、町会の意味が全然わからなかったのが、そういうので、うちのおやじ、おふくろが大変お世話になったから、俺が入ろうとかいうふうにして、町会が増えていったんですよね。最近、今のお話のようになってないんです。そんなことから、これをどういうふうにしていったらいいのか。今、H会長もきめ細かく町会をやっていますけど。

また、書類、掲示板、これはもう課長から説明したとおりです。

◎**広報課長**

ありがとうございました。

そうしましたら、次にマイクをお回しします。よろしく願いいたします。

◎**I 会長（滝野川新西自治会・滝野川西地区）**

簡単に結論から言わせてもらいますと、近年、やはり大型のマンションがたくさんできています。各町会・自治会の会長さんも先ほどからいろいろお話が出ている中で、例えば、建築業者が区に建築申請をするときに、不動産と契約（町会・自治会加入促進に関する協定）を結びましたよね。ああいうふうにちゃんと結んでいるので、建築申請があったときには、必ず「各地区の町会長などとお話はしてくださいね」と、強く建築課で言っていたきたいというのが要望なんです。

それで、私どもの地区には、結構いい事例が過去に2件ばかりありまして、今年も2件、大きいマンションのほうと、自治会に入ってくださいといろいろ交渉して、入っていただきました。これは、マンションができちゃってからでは、もう間に合わないんですね。だから、できる前から交渉していかないとダメなので。先日の北区新聞に区長さんが載っているの、僕たち自治会のほうも、マンション業者と相談するときは、こういう取組みもしているんだよというのを見せながら、説明をしているので、やはりいい方向に持っていただければ、よりマンションと交渉ができるということで、私どもは強くお願いしたいなと。建築課のほうでも、必ず言っただけするようにしていただければ幸いだなと思っています。

うちのほうも、先ほど申しましたように、2年ぐらい何回も交渉して、一番

平成 28 年 10 月 27 日  
きずなトーク（滝野川地区）  
議事要旨

ひどいときは5年ぐらい交渉したんですね。この前は、つい最近だから1年ぐらい交渉して、向こうもようやくトップのほうが出てくるようになりまして、契約を結んで、ちゃんとお互いの契約書をつくったんですね。そういうふうにやっていますので、うまくいっている状況をいい事例として、報告させてもらいました。

以上でございます。

#### ◎区長

今、I会長からお話しされましたけれども、そういうのを二、三の町会からお聞きしているんです。不動産業界で、マンションできたら町会に入りなさいよというように指摘されているというのを、いろいろお話を聞いています。詳しくは、課長さん。

#### ◎地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）

ただいまI会長からお話のございました、集合住宅の町会・自治会への加入というのが大変に大きな課題であるといったようなこと、調査の中でも結果として出てございます。

その中で、『きずなづくり』の一環といたしまして、建築時にどういう形で町会・自治会に入っていただくように誘導していくのかというお届けを出していただくような形になっておりまして、この前、ちょっと調べましたところ、今、戸数にして、北区全体で800戸近く、また、今後、お知らせをできるような統計を含めると、約1,000戸近くのマンションがこれから4月以降、建っているところがございます。それから、あとは先ほどのI会長からもお話がございましたように、不動産業界との協定ということで、不動産屋さんのほうで賃貸とか、それから分譲ということでご紹介をいただくときに、是非町会・自治会に加入しましょうということで、訴えていただいています。それから、もう一つは、実際に住民票届けを出したとき、区民事務所の窓口等で、やはりチラシ等を置きまして、是非、町会・自治会に地域コミュニティの充実のためにご加入をいただきたいということで、お知らせをしているところがございます。

こういった何重もの段階を踏むように、少しずつ進めているところがございますので、町会・自治会の会長様にも、ご苦勞をおかけしますが、よろしくお願いを申し上げたいと思います。

以上でございます。

#### ◎広報課長

それでは、区から答えさせていただきましたが、続いてお願いします。

#### ◎J会長（栄町親和会・昭和町地区）

まず、10月4日の読売新聞の朝刊に載っていた、今年の夏に実施した40歳以上の男女3,000人以上を対象とする高齢化に関する聞き取り調査・分析ということで、約70%以上が「地域で困っている人がいたら助けたい」という考えを持っているという。すばらしいですね。これは40代の人たちがそういうふう



に言っている。そして、先ほど区長さんからお話がありましたが、「できれば現在住んでいるところに住みたい」という人が 72%もいるというような中で、この回答がありました。

支援を求める高齢者に役に立つことは、支える側の高齢者にとっても生きがいとなる指摘があります。地域の支え合いということで、是非やっていきたいことを三つまで挙げると、見守り、それから安否、それから最も多いのが通院や買い物など、外出の手伝いとか、今、話題になっているごみ出しや電球の交換、ちょっとした力仕事とかですね。この問題につきまして、昭和町自治会長さんを中心に、私ども栄町親和会も今年の 4 月にお話をさせていただいた。これはいろんな部分で、無料化の時代じゃない。今は、電球の球を一つ変えるにも、電話で呼ぶと、出張料だけでも 4,000 円とか 3,000 円とられる。それが地域で何とかできないかというようなものとか、例えば、ヘルパーさんを頼むと、洋服をちょっと買いに行っていていただくだけでも、2,000 円とられる。そういうお手伝いを、地域で何とかできないかと思っております。

特に地域の『きずなづくり』という点については、私どもの昭和町自治会長さん、非常に積極的で、物事を早く進めるんですね。今まで、子どもたちに対しては、『わくわく☆ひろば』（放課後総合子どもプラン）で田植え、稲刈りというような事業をやっておりました。これは、北区 38 校全てが居場所づくりということで、教育委員会が進めている事業の中で、昨年までは、『わくわく☆ひろば』で 6 月に田植えをやって、それで 9 月に稲刈りをしているということですね。それを 38 校全部がそういう意見を出されると、予算的にもできないということでしたが、昭和町自治会長さんは、じゃあ、連合で 10 万円出しましょう、そして、地域の家族全員入れて 10 万円、PTA から 10 万円ということで、『わくわく☆ひろば』の方々は子どもたちを集めてくださいということで、6 月に田植えに行ってみまして、モチ米を植えていました。

モチ米を植えて、そして、サツマイモとか、9 月にそれを収穫しまして、5 町会で約 45 キロのモチ米を分けて、そのモチ米を地域の大人と子どもが餅つきの中でそれを食べる計画を、昭和町自治会長さんが提案していただきまして、この 12 月に、地域全体で餅つきをやるという中で、子どもも大人も、子どもたちが植えてきたモチ米を、地域でみんなでお餅をついて食べるというようなことが、地域の大人と子どもの『きずな』ということで、そういう部分を交わりながらやっていくというものではないかなと思っております。

世代交代は何も急がなくていいじゃないか。私どもの地域は、大体 95%以上、99%サラリーマンの町です。そして、今、400 名以上が 70 歳以上。毎年 9 月の敬老の日には、お赤飯を町会の人たちが 400 幾つみんなで炊いてつくって、お年寄りに振る舞う事業をやっているんですね。若い人たちが新しく（町会に）入ってきてほしいけど、世代交代の流れはそんなんじゃないなくて、60 歳の定年や 65 歳になって、要するに、子どもさんやお孫さんの手が離れたら、10 年間、地

平成 28 年 10 月 27 日  
きずなトーク（滝野川地区）  
議事要旨

域に貢献していただけないかというようなことで、かつて消防署や銀行に勤めていたというような方たちが、地域の中で活躍してくれる場をつくり上げていくのが地域のリーダーだと私は思っております。

そんなことで、私たちの栄町親和会も、かつては 30 軒ぐらいの商店街があって、工場も 30 ぐらいあった。そこの担い手の、2 代目がみんな消防団とか地域青年部とかに入って、一生懸命やっていた。しかし、今、みんなそこはもう大手のサラリーマンになっている。じゃあ、どうしたらいいんだろう。その時代のときに、何もここへ来て、拘束するんじゃないくて、年に一遍でもいいから、どこかの出られる場所があったら出てきてほしいということで、昭和町自治会長さんと私たち両方の町会で、『ふれあいひろば』を 9 月に各町会でやっているんですけど、1,000 人以上が集まるんです。子どもから大人、老人まで全部が楽しんでいる。これからは、とにかく無料の時代ではない。やはり有料化の時代になってくる。ですから、私どもでは、そのふれあいは 1 口 1,000 円以上、そして最大は 2,000 円以上と一定の金額を決めて、皆さんから集めたお金を皆さんに還元するという仕組みをつくっていくことが大事なのではないかと思っております。

私ども、毎年 12 月 26 日の 6 時から、これは防火・防災の昭和町自治会長さんの力を借りながら、地域の子どもと大人の 70 人から 80 人で、町内歳末警戒をしております。子どもたちが参加することによって、今度、大人が出たときに、2 階から手を振ってくれたり、ご苦労さんという言葉も返ってくる。これがやはり『きずな』ではないかと思うんです。

もう一つ、先ほど町会になかなか入ってこないというようなのがありました。私どもも、来年の 3 月までには、約 100 世帯ぐらい増えてくる中で、99%サラリーマン、戸建ても多いという中では、私や町会の役員さんが「町会に入ってください」と言ったときに、「町会ってメリットがあるんですか」と聞かれると、「メリットはありません」と答えてくださいとはっきり言うんです。それはなぜかというと、「じゃあ、あなたはこの栄町に住んで、ここが高くなったら売っていくんですか。それとも、この町に一生住み続けて、第二のふるさととして、この町に住むんですか。そうであったら、小学校に入れば小学校入学祝い、中学校を卒業すれば、中学のお祝いもお配りする。この辺の町会はほとんどそういうふうになっているんですね。そんな中で、売っていくんだったら入らない。そして、例えば、バス旅行、サクランボ狩りに行けば、親子で結局、子どもが 1,500 円、大人が 3,000 円、年間 2,400 円の町会は、その行事一つに参加しても、十分もとはとれます。だから、入りたくなかったら、入らなくて結構です」というと、逆に入ってくるんですね。いつも、あめばかり配るんじゃないくて、厳しいこともきちんとやっていくのが、地域のまちづくりであって、『きずな』ではないかと思っております。

あと 1 分だけ。その間でも何かをお配りをするときに、「『ふれあいひろば』

まで記念品を取りに来てください」というと、高齢者の方は、民生委員の人に頼んで、「足が悪いから、持って行っていいですか」と聞くので、「それはだめです。」「じゃあ、お隣さんに頼んでください。｣とお願いする。お隣さんが「じゃあ、お隣のマルマルさん、ちょっと悪いけど、ペンがあるのでマークしてください」と頼む。そうすると、ここに『きずな』ができるんです。これが、『地域のきずなづくり』ではないかと思っております。

私ども昭和町自治会長は、とにかく頑張る方ですので、それを中心に、いろいろ教わりながらやっています。ありがとうございました。

#### ◎広報課長

J会長、ありがとうございました。

では、区のほうで、J会長の意見に対してコメントします。

#### ◎政策経営部長

とても頑張っている、素晴らしいお話を聞かせていただいたかと思っております。いろんなところで活用できる話もあれば、やはり地域的に難しいところもあるかとは思いますが、今日、こういう場でいろんなご意見をいただいたので、皆様方も参考にさせていただくということもあるのかなと思っております。ありがとうございます。

#### ◎区長

おかげさんで、北区の人口も今、34万4,500人になりました。これも今、取り組んでもらっています北区の地域の魅力ですかね、新たな価値を創出するまちづくりに取り組んでいただいて、本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

次に、K会長様からご発言いただきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

#### ◎K会長（飛鳥山自治会・滝野川東地区）

皆さん、いろんなご意見が出たので、私のほうから1点だけちょっとお願いしたいなと思うことがあります。

町会の担い手づくりということで、来年、私たちの町会としては、30代、40代の方々が結構いらっしゃいますので、「いろんなことをやってくれ」といつも私が頼んでいると、「いろんなことをやりたい」ということで、毎年、何とか教室とか、いろんなことをやっておるんですけれども、同時に防災フェスティバルをやりたいということで、5月22日に、醸造試験所跡地公園で区の防災課とか消防署とか、いろんな協力を得まして、結構盛大に入りました。そのときに、区の職員の中にも非常に若い人がいますので、東京都の「地域の底力発展事業助成」のお金をお受けいただくということで、申し出まして、一応、それが出るということで、皆さんと盛大にやらせていただいたんです。親子連

れがいっぱい来ました。

ただ、そのお金が半年たってやっと、この間おりたんですね。それはいいんですけど、もうやった人たちが大変だということです。「もう二度とやりたくない」と。書類が余りにも煩雑で、どれだけ出したかわからないんですね。それで一生懸命若い人たちがやっている努力の意味がない。そういう形の町会の活動等の東京都の予算じゃなくて、区でそういうのはもっと簡素化した予算がおりるという方法というのはないものでしょうかということ、ちょっとお聞きしたいなど。

### ◎広報課長

ありがとうございます。

じゃあ、まとめて答えさせていただきたいかと思っておりますので、続きまして、L 会長様、よろしくお願いたします。

### ◎L 会長（上田端親和町会・田端地区）

もうほとんど皆さんが私の言いたいことを全部言っちゃったものですから、一つ二つ、区長というよりも、皆さんにお尋ねしたいんですけど、各町会に配っている回覧あるいは町会員に見せる紙、これは1カ月にどのぐらい出ているか、おわかりですか。

これは、本当に警察、消防、その他全部入れると、毎日毎日、区からの配り物も実際に40、50部、それに警察と消防、学校、諸々入れると100部ぐらいになるんですよ。それは、もう年寄りがみんな配ったり、いろいろしてきてくれるので、もう勘弁してくれと。

区役所の方がそんな話をしたはずはないと思うんですが、「何でもいから町会に渡せば、みんな配ってくれるよ」と、「一つでも手間を省けばいいんだよ」と、こういうことを言っている方がいらっしゃるといので、私は憤慨したんですが、そんなことは多分ないと思います。

確かに配るものが多すぎる。ちなみに、区長さんの机の上に1カ月に配る回覧等々の紙を1回積み上げていただいたら、どんなものか、参考になると思いますよ。こんなにいっぱい出しているのかと。と同時に、同じ課で係も違うところからどんどん出ているので、これは統一したらどうなんですかということが、やっぱりうちの町内会の識者から出ているんですよ。同じようなものじゃないかと。そういうものの区別等々も考えると、配り物も年間にしたら、何百万円、あるいはもっと節約できるんじゃないかなと思います。やはり節約等々も考えれば、それを我々町会のほうに手間賃じゃおかしいけれども、回していただければ、非常にありがたいなと思います。

もう一つ、建築のことですけれども、うちの担当の係の者が新築の家に行ったところが、「そんなもの（町会費）は払いません」と。「役所からも何も言われません」ということで、体よく断られたんですわな。だけれども、実際に、先ほども言うておられたように、区と業者との契約がありますね。確かに強制

はできないとは思いますが、確認申請のときに、個人あるいは企業と確認申請を当然としたいと思います。そのときに、大きな判を押して、町会費支払いを許可する、あるいは、認めますというような、区と本人が認めさせるような判でも「ばん」と押せないんですかね。町会費を強制することはできないとよく聞いていますけれども、やはり何かきちっとしたけじめをつけてくれれば、その家を建てる人たちも緊張するんじゃないかと思うんですよね。いや、こういうところは守っていこうじゃないかという。そういうことを常々考えておるところであります。

言いたいことはいっぱいあるんですよ。横文字をあまり使い過ぎる。我々年寄りにはもうついていられない。もうちょっと年寄りをいたわるような文字で書いてもらいたい。ということも一つお願いしたいと思います。

まだいっぱいありますけれども、2分になったわけで、以上です。

### ◎区長

L会長さん、どうもありがとうございました。

### ◎M会長（滝野川中央自治会・滝野川西地区）

多分、「きずなトーク」、かなりの町会長、自治会長さんの隠し持った悩みが出切ったんじゃないかなと思うんですけど、それだけ町会長さんをやられると、大変だと思います。町会だけの事業じゃないので、我々がやっていることはほとんどいろいろ行政側とのつき合いが多いものですから、もうほとんどカレンダーが真っ赤っ赤というような状態が多いんですね。

住宅の問題もしかり、それと、我々が町会でやる行事というのは、年間の行事で決められていまして、この予算を皆さんからいただく町会費によって運営していこうということでやっているんですけども、たまたま私どもの町会は、公務員の宿舎というのが一遍にぼんと抜けたものですから、200 数十世帯の1月 3,000 円という会費が来なくなったために、事業をやるためにはかなり苦しくなってしまうということで、今まで少しずつ、あった貯金をもうはたいちゃってしまったものですから、来年は町会費 50 円ぐらいに値上げしようか、昭和町のほうは 200 円ですか、うちのほうは 250 円を 3,000 円ずつ徴収しているんですけども、今、700 世帯の人がいるものですから、かなり苦しくなったなというところがございます。

新しく住まれる住宅、このところ、大分戸建ての住宅が増えていまして、いろいろ先ほどからお話がありましたけど、意外と北区からの助言というか、私どもにちゃんと挨拶に来てくれる人もいるんですね、一戸建てで。「引越してまいりました」と、言っちゃいけないんですけど、菓子折りも持ってきていただいた方もいるというような状態です。ですから、きちんとしていると思いますね。区が業者に先に「ちゃんと挨拶に行ってください」と言うと、訪ねてきてくれて、もう本当にずっと来ているものですから、ありがたいな思っているんですね。

ただ、戸建てじゃなくて、集合住宅で、単身者といいますかね、ワンルームマンションの場合は、ほとんど業者のほうと話をしても無理だということで、結局、出入りが激しいことがあるみたいです。つい最近、お話ししたところは、12世帯の小さいワンルームマンションで、7割は払いますということだったんだけど、3月の支払いは、そのときに入居していない可能性があって、その分は省かせてほしいという話があったみたい。そこまで厳しいのかなという感じを受けました。

僕らが一番先にやることは、建築主といいますか、業者さんと契約を結んで、町会費を何とかお願いできませんかと、印鑑をいただくということで、今までかなり成功しているのがございます。ただ、1軒1軒の方に言って、先ほど断られたということがあるというんですけれども、難しいんじゃないかなと思いますね。町会でやっている内容があまり浸透されていないので、断られるのかと思いますので、回覧板で年間事業はこういうことでやっていますというのを必ず載せていますので、引っ越してこられた方に見ていただければ、そうすかと返事を出せることがあると思います。そういった面では、これからお互いに苦労しなくてもいいんじゃないかなと思います。

あと、うちの地域が紅葉小学校と滝野川第六小学校が統廃合ということで、来年4月から新しい学校になるんですけれども、昨日テレビを見ましたら、もう友好関係は始まったということで、野田のほうの清水公園へ両方の学校の生徒が全員で行って、もう親善を済ませたということなので、ああ、よかった、僕らも統廃合にかかわっているものですから、いいことをやってくれたなど。昨日テレビで一、二分映ってまして、和やかなムードで生徒たちが遊んでいたの、これなら大丈夫かなとちょっと安心をしました。

もう一つ、滝二小の『わくわく☆ひろば』が今年の4月から始まってまして、うまくやっていたらということ、そこもひとつ安心しています。（また、学童クラブは）働くお母さんのための事業だと僕は思っているんです。お子さんを7時まで預かっていただくということであれば、働いているお母さんが6時ちょっと過ぎに帰ってこられても安心。今まで、6時だと帰ってこられないという話もよくあったものですから、それが解消できたのかなということで、北区中の小学校では、今まで学童（クラブ）が6時まで預かっていた児童さんを7時まで預かっていただけるという計らいをいただいたものですから、素晴らしいと思いますので。

じゃあ、この辺で終わりたいと思います。ありがとうございました。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

予定の時間を過ぎてしまいましたけれども、さまざまご質問等いただきましたので、区長のほうからお答えさせていただきたいと思います。

## ◎区長

本当に会長さんから配付物についてもあったんですが、これで各課に対して、必要最小限の配付物に限るように周知をして、協力を依頼してまいります。

## ◎地域振興課長

地域の底力、これは東京都で行っている助成、町会・自治会様の活動に対する助成事業というものですけれども、やはりコミュニティ助成というのがまた別にあるんですけれども、いずれにしても、そういった予算を申請するものというのは、大量に提出書類があり、書き込む内容も多く複雑だということを理解しています。ただ、区のほうで行っている助成事業というのは、割とNPO法人とかを対象とした、いわゆる地域の担い手を育てていこうという助成金はあるんですけれども、町会・自治会さん対象ということであると、いずれにしても、それなりの書類の数というものがあるものですから、区としては、サポートに努めていきたいと考えています。東京都のほうにも、機会がありましたら、書類の負担軽減ということも少しお話は申し入れしていきたいと思っております。

## ◎広報課長

よろしいでしょうか。

それでは、さまざまご意見をありがとうございました。最後になりましたが、A連合会長、よろしいでしょうか。

## ◎A連合会長（田端新町三丁目町会・東田端地区）

いろんな意見が出たようですが、区長さんは、日ごろ念仏のように唱えております「長生きするなら北区が一番」、「子育てするなら北区が一番」、これは理想なのでしょう。実際に23区で一番なのか。それと、私も北区で生まれて、北区で育っている人間で、私のところは、区境と隣接しているわけですよ。荒川区のほうがいっぱい面で、福祉や何かはちょっと恵まれている点もあるんですけど、私は荒川区には住みたくない。

それでお聞きしたいのは、今、区役所の職員、北区に住んでいる方はどのぐらいのパーセンテージがいるのか、北区が住みよい区だったら、北区の職員はみな北区に住んでいてもらいたい。埼玉県が多いとか足立区だとか、台東区に住んでいる人、北区に引っ越しきてもらいたい。北区は家賃も安い、交通の便もいいということなので、よろしくお願いします。

以上です。

## ◎区長

会長さん、ありがとうございます。私も、いつも北区職員が北区に住んでいないのというのは、交通が便利のために、やっぱりこの沿線に住むんですね。例えば、板橋とか練馬の職員や区長にも聞くんですけど、交通が不便のために区内に住まないんだめなんだそうです。北区は便利のために、川口とか、そっち方面に住む傾向があるみたいですよ。だから、北区は本当に便利なんだな。

平成 28 年 10 月 27 日  
きずなトーク（滝野川地区）  
議事要旨

ただ、住みたくても、職員がなかなか北区に住めるような、家賃とか、いろいろあるみたいなんです。

あと、「子育てするなら北区が一番」。これはもうまさに一番なんですよ。10 年前からもう取り組んできたんです。今、脚光を浴びないように見えますけど、もう本当に「子育ては北区が一番」。長生きもそうです。「長生きするなら北区が一番」は、今、23 区で人口が 30 万人以上のところでは、高齢化率トップなんですけど、東京でトップということは、日本でトップですからね。日本でトップというのは、世界でトップなんです、北区は。そう思って、高齢者にも今、全力でいろんなことをきめ細かく取り組んでいます。

## 6. 閉 会

### ◎広報課長

ありがとうございました。予定の時間を過ぎまして、申しわけございません。皆様、本当にありがとうございました。

それでは、最後になります。花川区長から閉会のご挨拶をさせていただきます。

### ◎区長

それでは、ありがとうございました。閉会に当たりまして、一言ご挨拶をさせていただきます。

本日、たくさんの皆さんから貴重なご意見、ご提案をいただいて、ありがとうございました。本日賜りましたご意見、ご提案は、北区の今後の区政運営にも生かしてまいりたいなと思っています。どうかこれからも、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

簡単ですが、結びに、このところ、気温の差が大変厳しい毎日であります。どうかお体には十分に留意されますように申し上げまして、本日の「きずなトーク」を終了させていただきます。ありがとうございました。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

それでは、本日、「きずなトーク」、これで終了させていただきます。皆様、ありがとうございました。

以上



## 平成 28 年度 きずなトーク（赤羽地区）

1. 日 時 平成 28 年 12 月 8 日（木）午後 2 時 30 分～3 時 30 分
2. 場 所 赤羽会館 4 階 小ホール
3. テーマ ○町会・自治会の担い手づくり  
○志茂地区における多世代の助け合いの仕組みづくりなど
4. 出席者 区長、政策経営部長、地域振興部長、広報課長、  
地域振興課長、  
地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）、  
赤羽地区町会自治会連合会常任理事（21 名）

### 1. 開 会

#### ◎広報課長

皆様、こんにちは。これから「きずなトーク」を始めさせていただきます。  
私は本日の司会を務めさせていただきます、広報課長です。どうぞよろしくお願  
いいたします。

それではまず始めに、赤羽地区町会自治会連合会の A 連合会長より、一言ご挨拶を  
よろしくお願いたします。

### 2. 会長挨拶

#### ◎A 連合会長（志茂二丁目町会）

それでは引き続き、今度は「きずなトーク」の方に移行いたします。

本日は「きずなトーク」ということで、前にやっていた区長とのまちかどトークか  
ら変更になりまして、やはり「地域のきずなづくり副参事」が今お見えになってます  
けれども、やはり『きずな』の重要性を北区では重んじていると思っております。や  
はりこのようなことで、区長と「きずなトーク」ということでお話ができるというこ  
とは、大変、赤羽地域のことに對してもありがたいかなと思っております。

また区長を始め、関係部課長の皆様方にご出席をいただきまして、ありがとうございます。  
赤羽地区は 70 の町会・自治会がございますけれども、各町会・自治会長さん  
は地域のために一生懸命に働いているわけでございます。やはり、このことも区長の  
耳にも入れて、こういうことをしてほしいよという要望も含めて、今日、お話し合  
いできればありがたいなと思っております。よろしくお願いたします。

### 3. 区長挨拶

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

続きまして、区長から、ご挨拶させていただきます。

#### ◎区長

会長さんたち、こんにちは。本日は常任理事会の中の貴重なお時間をいただきまして、このような場を設けることができましたことを心より感謝申し上げます。また、日ごろからA連合会長様を始め、赤羽地区町会自治会連合会の常任理事の皆様方におかれましては、北区に対し、ご支援、ご協力を賜っておりまして、厚く御礼申し上げます。

北区では「地域のきずなづくり」を区政の最重要課題の一つとして、地域のつながりを深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けた、さまざまな取組みを進めております。さらなる推進のためには、地域のコミュニティの核となる皆様のお力が、会長のお力が不可欠であります。そこで今年度、北区町会自治会連合会の皆様から、「地域のきずなづくり」や区政に関するご意見、ご提案をお伺いするために、王子、赤羽、滝野川の3地区ごとに「きずなトーク」を開催させていただくことと致した訳であります。

本日は限られた時間となりますが、皆様の日ごろの活動状況や課題など、忌憚のないご意見をお伺いできればと考えております。これからも「区民とともに」を基本姿勢に、皆様とともに歩む区政に努めてまいりますので、どうかより一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。今日は、どうぞよろしく申し上げます。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

### 4. 出席者紹介

区長、政策経営部長、地域振興部長、地域振興課長、地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）

### 5. 意見交換・情報交換

#### ◎広報課長

それでは、只今より次第に従いまして、意見交換・情報交換に入らせていただきます。

その前に一言、ご了承いただきたいことがございます。本日の意見交換の内容につきましては、広報課で議事録を作成させていただきまして、その要旨を地域振興室、また区役所の広報課と区政資料室、また北区のホームページで公開させていただきます。

す。その際、発言者は匿名とさせていただきたいと存じます。また、途中で広報課の職員が記録用の写真を撮らせていただいておりますけれども、写真は北区のホームページ、また行政が発行します冊子などに使用させていただく場合がございますので、あわせてご了承のほどをよろしくお願いいたします。

お話しいただくテーマにつきましては、9月の四役会、また会長ともご相談させていただきながら「町会・自治会の担い手づくり」、そして「志茂地区における多世代の助け合いの仕組みづくり」とさせていただきましたが、それ以外でも忌憚のないご意見をお聞かせいただければと思います。ほかの町会・自治会様にも参考になる事例、また、ご紹介したい取組みなどがありましたら、是非というところと、また今後取り組んでみたいことなどのご提案なども、是非お聞かせいただければと思います。

それでは、私の方で決めさせていただいて、誠に恐縮でございますけれども、まずこちらの列から進めさせていただきたいと思っております。

志茂地区につきましては、B会長、よろしくお願いいたします。

#### ◎B会長（志茂一丁目自治会）

『きずなづくり』、これは知っているんですが、なかなかまちでこれをやろうというあれがなくて、当自治会のお話をさせていただきます。

うちの自治会では役員の任期が 75 歳定年でやっております。私は一番最年長で、あとはせがれと同じような年代の役員がおります。それはもう 20 年前ぐらいに決めたことなので、ちょっと困っているところもありますけど。

また、うちの自治会は防火運動、それから防犯運動に非常に協力的で、もう 50 年以上、夜警をやっております。12 月 25 日から 1 月いっぱい、これを毎年やっておりますが、商店街の役員の方とか、それから今は自治会の方で、毎回そういう人たちが参加しております。

また 2 年に一度、祭礼がありまして、志茂地区は 4 年に一遍ですか、<sup>れんごうとぎよ</sup>連合渡御があります。熊野神社の例大祭のことなんですが、これも昭和 40 年代に地元の有志が<sup>むつみかい</sup>睦会というのをつくりまして、世話人として、一丁目在住の人なんですが、30 名以上が参加して、大人の<sup>みこし</sup>神輿、子どもの神輿、<sup>だし</sup>山車、これの巡行から、<sup>はんてん</sup>半纏の貸し出し、それから蔵出しから後片づけと。非常に我々、高齢になりますとなかなか動かないですが、その人たちが、非常に若い人たちが参加してくれておりまして、今でも事故もなく安全で楽しい神輿ができています。これが、うちの方の『きずな』じゃないんですが、担ぎ手も親と子どもと孫という 3 代という長い間ですから、3 代にわたって担いでくれるという、大変ありがたくて、お祭りがあってもスムーズに担ぎ手もみんな集まりますし、大変ありがたく思っております。

ところが、この近辺に、区長もご存じのとおり「八六」<sup>はちろく</sup>（赤羽西補助 86 号線沿道地区）の問題がありまして、一丁目だけが、ちょうどいろんなものがございます。ついこの間も「八六」で、裁判をやっています。そっちの方はいいとしても、保存会ができて、それでこの間、ご存じのように赤羽中学校の跡地問題、それから、つい昨日の発表ですが、北清掃工場の建替えの問題。意見の違う人たちが、グループで色々やっている。これから一丁目の道路も広げますと、『きずなづくり』がどういうふうになるかなというふうに思っております。それが今、一丁目の現状でございます。以上です。

#### ◎広報課長

B 会長、ありがとうございました。

続きまして、赤羽西の C 会長様、お願いいたします。

#### ◎C 会長（赤羽三和自治会）

意見的には先ほどの B 会長と同じようなことなんですけれども、やはり連合といたしましてはお祭り、それから今年は初めて赤羽西地区で防災運動会ということで、若い方たちに参加してくださいということで、子どもさんがたくさん来てくださったので、それにつられて若い親御さんも来てくださっているのです、少しは希望が持てたかなと思います。

普段やっていることは、先ほどと同じように、お祭り、それから防犯、防災のことを連合でやったりしています。各自治会で困っていることは、私どももそうなんですけれども、B 会長と同じように、（木密地域不燃化 10 年プロジェクトに伴う）拡幅問題がありまして、古いお家がなくなって、それとともに古い方たちがいなくなって、新しいアパートができますと、住民の方たちになかなかなじみができないんです。それが今、一つの問題だと思ひまして、お話しさせてください。

それとともに、掲示板の問題なんですけど、掲示板がなくなってしまっているのです、そのことも困っているんです。よろしくお願いいたします。

#### ◎広報課長

C 会長、ありがとうございました。

続きまして、神谷につきましては D 会長、お願いいたします。

#### ◎D 会長（神谷二丁目中町会）

まちのことについては、また別の機会にお願いしたいと思いますが、今、政府が進めている一億総活躍社会ですか、これを宣言して、全員が頑張ってくれということだろうと思うんですが、少子高齢化の問題に、若いお母さんたちも子どもづくりよりは働けと言っているような気がしてしょうがないんですが、やはりしっかり子どもたちが生活できるような姿勢をとっていただいて、あまり、働くとか、そういうことに神経を使わないで、やっぱりちゃんとした次代を担う子どもたちをしっかりと育てていただきたいというふうに考えています。

今、これから 50 年先になると、日本の人口は 9,000 万人を割ってしまうというよ

うなことも、書物で読んだりしております。やはり人が減るということは、活性化できないですから、是非そういう、働いてもらうのも必要かも知れませんが、子育てが終わってから頑張ってもらいたいというような方法を、何らかとれないものなのかということ提言したいと思えます。

そういう中で、やはり若いお母さんたちが今一番心配しているのは、区も進めているとは聞いておりますが、保育所の増設がどの程度まで進んでいるのか、その辺のことも含めてご回答いただければありがたいと思えます。まちの中を歩いていて、小さいお子さんを育てているお母さんたちが、やはり保育所に入れたいんだけど入れないと、待機児童が非常に増えているということ、区も一生懸命やっただけだと思えますが、その辺、どの程度まで含めて進んでいるのか、ご回答いただきたいというふうに思えます。ありがとうございました。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

じゃあ、桐ヶ丘地区の会長様、よろしくお願ひいたします。

#### ◎E会長（桐ヶ丘N地区自治会）

只今は引越しの準備に追われて、55年続いた自治会がどうなるかどうか、もう引越先でどうなるのかもわからないんですが、このまま続けていきたいと思っておりますが、会員の皆さんがどう思っているか、わからないので。今年の総会で決定すると思うので。

今やっていることは、北区地域見守り支え合い活動で、助成金をもらっています。その助成金で、只今、集会所で年寄り、いろいろな体操をしています。それがまず歌謡体操なんですね、普通の体操じゃないんです。歌謡曲をかけて、それに振りをつけた体操がございまして、その体操を7、8曲流しまして、一番有名な方は美空ひばりさん、ペギー葉山さんという方の歌で体操しております。最後に、北区のさくら体操、これが締めでございまして。これをまた続けていきたいと思っておりますので、もしまた自治会が続くようでしたら、また助成金のほうをよろしくお願ひいたします。

以上です。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

では続きまして、浮間地区の会長様、お願ひいたします。

#### ◎F会長（浮間都営住宅第一自治会）

「きずなトーク」という形の中で、私のところの自治会は、見守りということでパトロール隊を結成しまして、5年前から、皆さん高齢者です。ですけれども、週3回、全員で30名おります。この30名が三つに分かれて、月・水・金で夜、冬は7時から、夏は8時からということで、ずっと5年間続けてまいりまして、去年の6月にNHKで放送されました。

今、この形の中で、非常に私は今のところで安定しているなと思えますのは、パトロール隊の方たちが各号棟におりまして、その号棟を守る形で、本当に助かっている

部分です。皆さんも、全員が本当にこの会をつくってよかったねという形が、今のうちの自治会の現状です。ですから、ここがいつまで続くのかしらと思うのは、全員が高齢者、皆さんが 70 歳を過ぎています。80 歳の方もおりますけれども、どんなに辛くても、夜どんなに風が吹いていても、雨が降らない限りは回るんだということを徹底しております、この件におきましては少し安定しているのかなと思うんです。

ただ、『きずな』という部分におきまして、どうしても一つ、自分の中で納得しないと思うことは何かといいますと、結構、救急で運ばれる方が多いんですね。そのときに、近所で一生懸命に見守っている人たちがおりますけれども、この方たちが見守って、さんざん、その人のいろいろなものを見ていて、救急で運ばれるときに、「この方はどこの病院へ行くんでしょうか」と尋ねられたら、結局、「個人情報ですので教えられません」と言われるのが現状です。個人情報とは何でしょうか。見守りという形の中で、私が思うには、とても不便な形ですね。せっかくみんなが見ているのに、これができないということが現状です。

その方の戸籍謄本を調べているわけではありませんので、どこの病院へ行ったかということが、なぜ教えられないのかということが、私の中では不思議な感じがします。個人情報という言葉が非常に飛んでいて、個人情報が何とかならないものなのでしょうか、今回の私の疑問でございます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

それでは続きまして、赤羽北地区の会長様、よろしくお願ひいたします。

#### ◎G会長（袋自治会）

先ほど個人情報という問題が出てきました。大変、個人情報では困っております。というのは、町会の名簿もつくれないんですね。今、小学校で連絡網というのがあるそうですね。昔、我々の時はあったんですけども、今は連絡網も、電話番号も言えない、教えられないんだと。ですから、お互いに、お母さん同士が会って話し合う、それ以外は連絡網というのにはできないんだと。電話一つ、できないんだと、そのような現状でございます。

それから、私どものところは、先ほど、ひとり暮らしの見守りというんですか、これをやっております。この間、見守りの会があったんですけども、そこへ行きましたら、ほとんど老人会の方が見守りと。当然ですよ、老人会ですから老人のことがわかるわけですけど、町会としてはやっていないんですね。私ども、1件ぐらいじゃないかなと思います。

そして、役所の方から情報を知らせてくれと、この間お話があったんですけど、知らせられないんですね。我々はわからないんです。例えば今、病院へ入っちゃったと。ところが、年寄りが二人暮らししておりますと、1人が入院しますと、もう1人も一緒に入っちゃうんですね。病院の方も受け付けてくれます。それと同時に、黙って行っちゃうから、どうしたんだろうということになっちゃう。また1人だと、黙って入

院しちゃうと、もう隣同士で連絡も今はしてないんですね。ですから、本当に後になって、どうしたんだと。病院へ入っていたんだという結果がわかる、そのような現実なんですね。それから年寄りが亡くなっちゃうと、その家がみんな空き家になっちゃうんです。いつの間にか更地になって、新しい家ができて、新しい人たちが入ってくるんだから、それはいいんですけど、そのままの家というのもあります。これは大変困っております。

なかなか情報というものは、今はプライバシーという問題があって、私どものちょっとした小さなアパートなんですけど、自転車も置くんですけど、自転車に名前がつけられない状態になりました。今は、しょうがないから、自転車に番号を振っています。番号ならいいというので、貼りつけてくれます。私が言ったのは、これは刑務所じゃないかと、変な話が。それほど、今はだんだん、隣同士といいますか、話し合いということがだんだん希薄になってきたんじゃないかなと思っています。

非常に町会のまちづくりといいますか、『きずな』と申しましたけど、『きずな』が大変、親子同士でも、私どもも親子自体が、子どもがみんな、他へ行っちゃって、もう帰ってこないんですね。自分たちの新しい生活ができちゃっていますので、なかなか帰ってこない。その中でよそ様の面倒を見るというのは大変なんですけど、少しでも安心安全といいますか、よく言いますが、そのような年寄りにも安全なまちづくりというものに、少しでも努力していきたいと思っております。

以上です。

#### ◎広報課長

G会長、ありがとうございました。

赤羽地区の会長様、よろしく願いいたします。

#### ◎H会長（岩淵町自治会）

私の方では、子どもたちの挨拶なんですけど、我々が朝、家の前で掃除をしていて、小学生が通ると、私はいつも挨拶するんですけど、なかなか返ってこないんですね。というのは、学校で、一応校長先生にもそのお話をしたら、学校の前の先生方と子どもたちを見ていると、きちっと挨拶ができているんですね。ところが、一般の我々を含めて大人が挨拶をすると、不審者が挨拶しているのかなと思われるような向きがあるんですね。ですから、その辺を学校に徹底して指導していただくか、もしくは家庭の問題ではないかなという感じがするんですね。

他の役員さんなんかでも、せっかく挨拶しているのに、わかっているのに、顔を見てサッと逃げられると。非常に、会長、これはおかしいんじゃないかって、よく役員会なんかの時に言われるんですけど。私に言われても、困るんですね。私が校長先生にそのお話を向けると、じゃあ、ちょっと注意しましょうと。でも、学校では、私も上の方から見ていると、先生と子どもたちはちゃんと挨拶するんです。ですから、これはすごくいいんですけど、近所のおじさんやおばさんが挨拶するのにに関して、サッと逃げるのは、ちょっとおかしいんじゃないかなと。これは私の人相も悪いので、逃げられちゃったんじゃない、これはしょうがないかなと思っているんですけど。

この辺のところもちょっと、今日は教育委員会に関する先生方がいらっしゃらないので、ちょっとその辺のところを持ち帰って、お話ししていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

### ◎広報課長

ありがとうございました。

各常任理事の皆様からご意見をいただきましたので、ここで区側の方から。

### ◎区長

会長さんたちから、素晴らしいご意見、お話をお聞きして、みんなもう、なるほどのことばかりです。

実は先日、参考までになんですけれども、「意識・意向調査」をやったんですね。これは3年に一回やっているんですけど。3年前の調査に続いて、今回もやったんですけれども、約8割の方々から、「北区に愛着がある」、「北区に住み続けたい」というお答えがあったんです。また一方、「区政参画したり、また地域活動に参加したことがあるかどうか」というのは、回答が1割ちょっとしかないんですよ。その理由としては、「家事や仕事が忙しくて時間がない」、「参加や活動するきっかけがない」というのが上位を占めているんですね。

ですから、前回に比べて「興味がない」という回答が増加している、そう今は思っていますし、また10月は北区の『きずなづくり月間』だったんですけど、誰もが安心して暮らせるまちづくりに向けて、区民の皆さんと一緒に考えて、取り組んでいけるように、また地域への関心、興味を持っていただけるような、そういう活動を積極的に展開していかなきゃいけないな、そう思ったところであります。

今、本当にお話はそのとおりなんです。ですから、これから、具体的にそれぞれ話をしていただければと思います。

### ◎政策経営部長

回答になっていない部分、感想なんかも含めて、ちょっとお話をさせていただきます。

まず、B会長ありがとうございました。赤羽中学校跡地の、学校跡地利活用計画を策定するときにも随分お世話になって、ありがとうございます。確かにさまざまなことが、あの地域で今起きているなと思いますが、それをはねのけるような形で、皆さんで、先ほどもちょっとありました、お祭りや何かも、そのままずっと引き継いでいただきたいし、防火・防災、夜警、そういうことに若い方も参加しているということなので、すごく頼もしいなと思ったところでございます。

C会長さん、これは弁天通りのことですよ。道路事業の中でも、かなり区画の売却が進んできたなと思っています。ですので、あそこが広がれば、また随分まちが変わってくるなと思っています。掲示板の件は後ほど担当から説明します。

D会長からお話がありました一億総活躍ということで、お母さん方に働け、働けというよりは、まずは子育て。北区としても「子育てするなら北区が一番」というようなことで、保育園ももちろんつくりますが、さまざま、お母さんたちにも働き方はい



ろいろあると思うんですね。ですので、そういう働き方を、子どもを育てながら、空いた時間は働くというようなことも含めて、もっと働きやすい環境を整えられないかなというふうに思っています。

それで、保育園の待機児解消ですけれども、28年4月に200何人かの待機児童が生まれて、緊急対策をいたしました。29年、来年の4月及び7月ぐらいまでの間に1,000人を超える形での定員拡大、これを今進めておりまして、私立保育園あるいは直営の保育園、そしてまた小規模保育園という形で、0歳から2歳までというような子どもたちの保育園等を、今いろんな形で誘致したり、つくったりということをしております。何とか今度の4月には待機児をゼロにしたいというふうに思っておりますが、地域的なこともあって、もしかしたらゼロにならないかもしれませんが、ゼロにするべく努力させていただきます。

桐ヶ丘のE会長さん、引っ越しということ、あそこもガラッとこれから変わりますので、まちが本当に変わるなというふうな思いはありますが、多分、今まで培われた『きずな』は、そのままだと思っておりますので、今後も是非よろしく願いさせていただきます。

また、浮間のF会長さん。確かに、今は昔と違っていろんな方がいらっしゃる。皆さん、地域でよくおわかりになっているかと思うんですけど、その方はよくても、その方のお子さんたちが「何で教えたのか」というようなこととかも、きっとあるのかなとか、いろんなことを思いますと、なかなか世知辛い世の中になったなと思います。そういう中でも北区としては、『きずなづくり』というように形で、できたらいいなと思っております。何の解決策にもならないで申し訳ないですけども、そんな気がいたします。

赤羽北のG会長さんから、やはり個人情報、あるいは見守りといってもなかなか高齢者が高齢者を見ていると。確かに今、高齢者の方が高齢者の方を見ているけど、高齢者の方々がもしかしたら一番元気なんじゃないかという思いもございます。そういう意味では地域の中できちんとそういう役割があるというのが、生きがいにもなっていくのかなというふうな気もいたしました。

あと、最後のH会長さんから、子どもたちから挨拶がなかなか返ってこない、あるいは避けられると、ちょっとショックですね。私も朝、実は自分のところから出たところにちょうど学校があって、そこで朝、ボランティアで、横断歩道に立っていただいているおじさんがいて、みんな子どもたちが、そのおじさんには「おはようございます」と言っていて、私もそのおじさんに「おはようございます」と言ってくるんですけども。やっぱり教育ももちろん大事ですけども、家庭のそういうしつけと言っているのか、そういうこともすごく大事だと思います。今、教育委員会の中でも家庭教育をもっと充実させようというふうなことでの取組みを、来年に向けて、さまざまやってまいりますので、地域の皆さんにも挨拶しようねと、家でそう教えられていけばいいなと思っております。

## ◎区長

ちなみに、今、北区の人口が 34 万 5,000 人を超えたんです。そして納税者も、増えたのはお子さんもそうなんですけれども、税金を払ってくださる納税者も 3,300 人ぐらいに増えてましてね、7 億 9,000 万円増収となりました。ですから、おかげさまで、これからまた今、志茂では日本化薬のところへ 800 戸ちょっとぐらいのマンションができますね。豊島四丁目、王子五丁目にもできる。あと今のお話、どこまでですか、マンションが今続々と建っていますので、そういう面では環境はガラッとまた変わってくるのかなと、そう思ったりしています。

## ◎地域振興部長

赤羽西の C 会長さんから掲示板の話がありましたけれども、地域振興課の方では、掲示板については、まちでいろんなことをお知らせするための一番身近で役に立つものだと思っているので、もし、まだこちらの方にご相談なさっていないのであれば、是非ご相談いただければと思いますし、ちょっとうちの職員が何かとろいようでしたら、おっしゃっていただければ、指導いたします。

## ◎C 会長（赤羽三和自治会）

一度ちょっと伺ったときは、やはり道路がきちんとならない限り、掲示板を仮につけるということは難しいようなお話をしていたし、あと、できちゃっているところは、センターとかの中に入っちゃうと難しいんですよと言われた。おうちを引っ越しした場合は、そこそこにはできないということ。

またそのうち、お伺いいたします。

## ◎地域振興部長

お待ちしております。

あとは、地域振興部あるいは地域振興課ということでお答えするのがいいかどうかわかりませんが、電話連絡網がなかなかつくれないという話がありました。

そう言えば、自分はよその区に住んでいるんだけど、毎年のように町会員名簿は今来ないし、もしかしたら確かに電話番号は載っていなかったかなという気はします。ただ、自分が住んでいるところは、たまたまなんですけれども、14 軒ぐらい、隣同士でごみ出しなんかをする班みたいなものがありまして、そのうちの 10 人ぐらいが年に一遍、おやじの会とか言って、酒を飲むようなつき合いをしているんですね。それがもう 10 年以上たっていますので、お互いにメールを知っていて、何かあれば連絡をとり合うような体制になっている。酒飲みのおやじが多かったというだけの話かもしれない。

昔は東京でも、隣の家のことはお互いに何でも知っているという時代があったんだと思います。それはもう 4、50 年前のことなんだろうと思うんですね。それが 4、50 年かけて、このような社会に変わってしまったわけです。昔のようになるのいいかどうかはともかくとして、自分はこのままではよくないと思うし、やっぱり必要な情報はお互いに共有することが大切だということを確認していくために、10 年か 20 年か、時間がかかってしまうのかなと思ったりしています。

ただ、そういった取組みをやっている団地の自治会の事例が、東京の西の方でありまして、その自治会長さんのお話を聞いたという方も北自連のなかにもいるようだし、私も本で読んだことがありますので、そういった事例については、赤羽北地域振興室長も含めて、私らの方から、ちょっと情報提供させていただければと思います。ちなみに、その団地では隣三軒両隣との間では、ちゃんと情報交換するようにしましょうよ、電話番号ぐらい教えましょうよって、そういう取組みをしたらしいんですね。だから、電話番号一覧をつくって、みんなにばらまくということは、やっぱり怖かったんだと思うんですが、隣同士で教え合いましょうよということを団地の自治会の方で呼びかけて、みんながみんなそれを、言うことを聞いたかどうか、わかりませんけれども、そういう形で少しだけ安全網を自主的につくるという取組みをしたことがあるようです。そういうのも何か、一つの参考になるのかなと思ったりしました。

#### ◎広報課長

よろしいですか。ありがとうございました。

続きまして、今度は四役の方々からお話をお伺いしたいと思えますけれども、どなたか代表でよろしく願いいたします。

#### ◎ I 会長（神谷二丁目南町会）

私は町会のことではなくて、ちょっと提案という形でお話をさせていただきます。

日本に外人の観光客を、今年で 2,000 万人いったのかな、どんどん呼んでいるんですけど、北区にどのぐらいの外国から観光客が来ているか、わかりませんけれども、そういう外国の人たちを色んないい名所がありますので、北区にどんどん来てもらうように、是非とも北区の方から外国にいいところを発信してもらって、インターネットを活用していただいて、是非とも日本、東京に来たら北区に寄ってもらうように、観光立国北区をメインにさせていただいて、どんどん北区に一人でも多く、外国の観光客を呼んでいただきたいなと思っています。

そうすれば多分、平成 27 年度、北区の留保金はたしか 400 億円ちょっとぐらい、たまってると思いますけど、外国の観光客が来ることによって、もっとこれが増えていくのではないかと思いますので、一つ、その点をよろしく願いします。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

それでは続きまして、よろしく願いいたします。

#### ◎ J 会長（桐ヶ丘団地 W 地区若桐自治会）

先ほどの個人情報の件でお話がありましたけれども、今まで 5,000 人規模のところは個人情報に関しては除外されるということを言っていましたけれども、先月か先々月のニュースで、もうそれもだめだということが言われてました。これはどういうふうなあれなんですか。ちょっとお知らせいただきたいと思えますけれども。ですから、自治会の名簿も作れなくなってしまうということなんですよ。ですから、これもちょっと一つの困った事態だと思いますので、よろしく願いします。

### ◎広報課長

ありがとうございます。それでは、後ほど、まとめて回答させていただきます。  
続きまして、お願いいたします。

### ◎K会長（赤羽北二丁目町会）

私どもの町会は、埼京線北赤羽の駅前で、アクトピア壺番館から六番館まで、私の町会に入っております。北区ニュース配付は1,886部、今日現在で配付しております。また、町会の加入は1,354世帯でございます。

私が6年前に会長になりましたときに、明るい町会、楽しい町会、活動力のある町会をモットーに活動したいなと考えました。今回のテーマであります町会・自治会の担い手づくりということでお話をさせていただきますが、町会の役員の補充も大変苦勞しているところでございます。

町会の行事は、5月に潮干狩りと、2年に一度の例大祭ですね、また北赤羽の駅前の納涼盆踊り大会、そこに模擬店を12店舗、出させていただいております。収入も120万円ほど模擬店で収入がでございます。その近隣の、アクトピア壺番館から六番館に住んでいらっしゃるお年寄りとか若い方が、焼きそばとか、それからいろいろと、玉コンとかを食べて、夕飯はそこで終わるということを楽しんでいるということ聞いております。

ただ、今お話ししましたけど、なかなか役員のなり手が無いということで、潮干狩りに行ったときに、お父さん、お母さん、若い方が一定数おりますので、私たちは見ているんですね、お父さんとお母さんの活動を。お子様に対してどのようにやっているかとか、また自分のお子様だけではなくて、周りにいた方のお子様のお世話をしているお父さん、お母さんもいます。そこで、あのお父さんはどこのお父さんとか、お母さんか聞いて、いいわよね、感じがいいわよねということで、役員の候補をそこからも出してあります。また、アクトピア壺番館から六番館は町会担当という方がおりまして、私どもの町会の役員会に出席しておりますので、その方も終わったときに役員に推薦させていただいております。活躍していただいております。

なかなか若い方が集まらないんですね。集める方法としましては、若い方はお勤めしておりますので、2人で1人ということで、私どもの町会では考えております。ですから、無理に出られない行事には出いただかなくてもいいですし、ただ、大勢の若い方を入れたいなと考えておりますので、とにかく人集め、役員を全員、町会に入れましょうということで、私を始め、副会長なんかも大変苦勞しているところでございます。

それで、高齢者の見守りをやっております。年配の方は重いものとか、小学校なんかのテーブル、とっても重いんですね、2人で1台を持てるような重いテーブルです。そういう方から、テーブルが重くて大変だよと、もう何回も聞いておりましたので、高齢者の見守りをやって、補助金で20台ほど、軽いテーブルを買わせていただきました。

それでお願いでございますけど、高齢者の見守りも、うちの町会で、今年で3年目

を迎えて、いろいろとテーブルとか椅子を購入させていただいたところがございますが、これを是非高齢者の見守りの、4年目で終わるといってお話も聞いておりますので、是非高齢者の見守りの補助金を続けていただきたいなと思っておりますのでございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

それでは続きまして、よろしいでしょうか。よろしくお願ひいたします。

#### ◎L会長（赤羽南自治会）

私のまちの『きずな』を感じる。自治会の祭り、餅つき大会あるいは盆踊りなど、準備、組み立てなどの世代を超えた交流、対話を通じてコミュニケーションがとれることは、できることがいいことなのかなと。

先ほど、どなたかおっしゃっておいりましたけれども、盆踊り大会などは年々参加者が多くなっている。あるいは、子どもさんたちが道路にブルーシートを敷いて座って見てくれる。こういうことでございますので、大変うれしく思っているところでございます。

また、次に防災訓練など、まちの人たちとの会話、けが人などの手当て、火災時の初期消火、バケツリレー等、団結した作業等、『きずな』を感じているところでございます。

自治会を中心とした高齢者の見守り、声かけを心がけ、『きずな』を深めていこうと思っております。祭りなどは人と人の地域、文化の宝です。これからも自治会の人材の養成に努めてまいりたいと思っております。

以上で終わります。

#### ◎広報課長

L会長、ありがとうございました。

じゃあ続きまして、M会長、よろしくお願ひいたします。

#### ◎M会長（稲付自治会）

今日は区長を始め、『きずな』の塊みたいな方たちが目の前に座っていらっしゃるので、お話もスムーズに行くんじゃないかなと思っております。

広報課長、2分たったらストップをかけてください。よろしくお願ひします。

『きずな』は大変重い言葉だと自覚しています。「3. 11」で皆さんの募金があれだけ集まって、全世帯から人手が集まってきて、いろんな形で、福島県、岩手県、宮城県を応援する方たちが大勢、集まってきましたよね。ところが、そういうのが集まってきて、自然にそういう人の力、お金の力が集まって、その後で、『きずな』というのが、言葉が出てきたような気がいたします。それも、『きずな』という言葉が流行語大賞みたいな形で、日本の方たちには、それなりに頭の中に入ったと思っておりますけど、それが数カ月たったら、やっぱり自然抹消的に消えて行っちゃったような気がするんですね。

今、皆さんのお話を聞いていて、ふと思ったのは、回覧板がありますよね。名簿を

平成 28 年 12 月 8 日  
きずなトーク（赤羽地区）  
議事要旨

作られた自治会・町会さんがいらっしゃいましたよね。うちの方も 10 年ぶりぐらいに名簿を作りました。確かに、回覧で、「個人情報がありますので、皆さんの中で名簿に載せたくない方は遠慮しないで、署名というか、名簿の名前を書かなくて結構ですから」という回覧を 2 回、回したんです。ところが、結果、名簿はでき上がってきました。その後で、うちに何度も電話がかかってきたんですね。というのは、「回覧を回さないで、こんなことをしていいのか」という。ですから、はっきり言うと回覧が回っていないんですよ。

回覧板というのは、先ほど地域振興部長が掲示板のお話をされたんですけど、集合住宅等は掲示板がより強いコミュニケーションと情報源になっていると思います。ただ、一般の住宅は回覧板がコミュニケーションで、情報源なんですね。昔は、僕なんか若い頃は回覧を持って隣の家へ行って、おじいちゃん、おばあちゃんと、今うちの中はこんな状態だよ、学校はこうだよという、いろんな話をしながら過ごしてきましたよね。今は玄関先に置いてある回覧板が大変多いんですよ。

というのは、回さない。ひとり住まいだからとか、理由はいろいろあるんですけど、隣の家との距離が、田舎でしたら 100、200 メートルありますよね、都心だと 1、2 メートルで隣の家へ行かれます。その時間もやっぱり、何と申しますか、もったいないというのか、そこまで人様のことにはかかわりたくない、これがまた個人情報につながってくるんでしょうけど、そういうことで回覧を回さないでストップしちゃう地域が結構増えてきているので。

これは区の方をお願いなんですけど、回覧板はこれだけ大事だよという広報をお願いしたいんですよ。掲示板は確かに大事です。ただ、まちなかの掲示板を見て、そこに立ちどまって掲示板を見ている方というのは、それほど多くないんですね。やっぱり回覧板が情報源であり、コミュニケーションの場のような気がいたしますので、何とか回覧板を充実させていただきたいというのが私の意見で、ご理解いただければと思っています。よろしくお願いします。

### ◎広報課長

ありがとうございます。

それでは、回覧板等の質問がございましたので、区側から回答させていただきます。

### ◎区長

今、M 会長さんからお話がありました。

例えば「3. 11」のこともそうですけれども、陸中海岸の津波、僕はそれを今思い出したんですけれども、40 年間隔で来たんですね。そのたびに、もちろん名簿とか、そういうのはない、やっぱり隣近所、まちが結束していくのが、今の回覧板だったなと思出したんです。回覧板と同時に、お祭りとか、いろんな行事をしながら、まちが結束していったんだなと思って。今、つい、そう感じましたから。今そういう時期に、もう来ているんですよ。個人情報って中で、是非回覧板、いいなと、そう思ったので。

### ◎地域振興部長

I 会長さんからお話のあった外国人の観光客のことにつきましては、観光担当の方で、実は今、外国人向けのパンフレットを作成準備中でございます。もうしばらくしたら配布できるようになるかと思えます。外国人の留学生等に北区のいいところはどんなところかインタビューして、そういう人たちの意見を踏まえて、英語、中国語、ハンガルの 3 カ国語のパターンぐらいでたくさん作って、区内の公共施設とか駅だけじゃなくて、区外のホテルとかでも置いてもらえるところには置いてもらおうと、厚かましいかもしれませんが、そんなことを考えているところでございます。

それから、M 会長から最後にありました、回覧板の重要性を北区ニュース等で PR するということにつきましては、検討させていただきます。おっしゃるとおりだと思いますので。ありがとうございます。

### ◎M 会長（稲付自治会）

日本の文化だと思いますので、回覧板はなくしたくないなというのが、私の気持ちなんです。

### ◎地域振興部長

あと、もし機会があれば、こちらの方でも回覧板の回し方とか、回覧板の体裁についても、町会・自治会によって、いろんなパターンと申しますか、工夫されているような話をチラッと聞いたことがありますので、そんな情報も収集してみたいと思います。

### ◎地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）

恐れ入ります。今、J 会長の方からお話のあった件なんですけれども、北自連等でも、そのお話はご報告させていただいたかと思うので、またちょっと確認してご連絡を差し上げたいと思うんですが。

確か今まで 5,000 人以上の名簿に関しましては厳格に個人情報保護ということの対象になっているということで、言い換えをしていたのですが、今、法案が通りまして、今度は 5,000 人以下の名簿に関しましても、例えばそういった罰則とか、そういったものが規定になるということで、確か理解してございまして、特に名簿が作れなくなるとかということではなかったかなというふうには、理解しているところなんでございますが、またその辺、もう一度確認させていただきまして、ご連絡を差し上げたいと思っております。

### ◎J 会長（桐ヶ丘団地 W 地区若桐自治会）

お願いします。名簿をつくるのについて、私の名前は外してくださいとか、そういう方が結構多いです。ですから、どうしても名簿がないと困る自治会のためには、やっぱり個人情報であっても名簿は必要だというふうに考えておりますので、その点、詳しく調べていただきたいと思います。

### ◎地域振興部副参事（地域のきずなづくり担当）

かしこまりました。確か、名簿は作成できなくなるということではなかったかと、私は思っておりましたので、その辺きちんと確認して、ご連絡をまた差し上げたいと

平成 28 年 12 月 8 日  
きずなトーク（赤羽地区）  
議事要旨

思っております。

以上でございます。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

#### ◎地域振興課長

最後に私から。

幾つかあったんですけど、K会長さんからあった、ご高齢の役員の方が大変多い中で、若い担い手の方々について、一生懸命、盆踊りとか、そういった行事を捉えて声かけしていくという取組み、本当にご苦労があるというふうにも感じております。そういった中でも、なるべく若い方でも出てきやすいようなきっかけづくりというのを町会行事で持たれていることというのは、非常に有効なことなのかなということも考えています。そういう周知を図るに当たって、掲示板と回覧板というのが大きな役割を果たしていると思っております。

掲示板については、掲示板を置いておけない場所も増えたり、あるいは家の解体に伴って、もう壁かけ型の掲示板を外してほしいということによって、だんだん掲示板のポイントが少なくなってしまうという現状もあるという中で、一気に掲示板がなくなることもないですけど、かといって一気に増やすこともできない訳ですから、計画的に機会を捉えて、年に1台ずつ申請の相談に来られたり、あるいは古くなった掲示板が新しくならないのかというところで、ある程度、計画性をキープすることを考えていらっしゃる町会さんはございます。

それから、回覧板については、ある特定の家でいつも回覧板がストップしてしまって、そのお宅から以降の班の中にいるところに回らないという苦情をいただいたことがあります。そういったところで、後回しにされてしまうお宅に、たまたまファミリーが住んでいて、青少年の行事に参加できなかったというようなお声をいただいたことがありますけど、要するに、家に夜中しか帰ってこないような方など、ずっと回覧板がたまっているというようなお宅について、班の中で対策を考えていただいて、例えば中身だけ先にポストに投函して次に回してしまう、そういったケースもあったりするというのを聞いております。そういったところでは、「地域のきずなづくり担当」ともども、名簿の作成のことや回覧板の回し方のコツですとか、あるいは掲示板のあり方ということは重要な課題だと思っておりますので、十分これから考えていきたい課題だというふうに思っております。

#### ◎広報課長

ありがとうございました。

それでは最後になりますが、A連合会長から、机上に資料もお配りいただいておりますけれども、志茂地区の取組みについて、お願いします。

#### ◎A連合会長（志茂二丁目町会）

時間が大分迫っていますので。

お手元にカラー刷りの、ホチキス留めのA4のペラです。志茂地区ではこのような



ことをやっていますということでございます。

<別添資料 1 ページ参照>

志茂地区における多世代の助け合い、ジェネラティビティと、舌をかみそうな英語になってしまうんですけども、これは東京都健康長寿医療センター、板橋区の大山駅のすぐ近くにある、病院も兼ねているところと一緒にプロジェクトを組んで、志茂地区から北区全体、そして全国へという研究を進めているわけでございます。というのは、北区の中で平均的な人口比率、高齢者と現役の働き盛りと乳幼児がバランスよく、北区で一番バランスのとれた地域だということでございます。そのためにモデル地区となって、3年間で全てのプログラムを立ち上げようという形でございます。

<別添資料 2 ページ参照>

世帯数は1万650世帯、人口数が1万9,300人でございますが、時間がございませんので、裏面に行きまして、どうして多世代なのか。子育ての悩みについてわからない、誰に相談していいかわからない、緊急の時にどうしたらいいのか、また高齢者からは家事、掃除の手伝いなど、手伝ってくれる人がいないのか、中には電球を取り替えたいけど、取り替えられないというような、多世代にわたる不安の課題をみんなで見守って、みんなで助け合おうと。ですから、お年寄りがお年寄りだけでやっているのではなくて、若い者を引き入れて、お年寄りは子育てをこういうふうにするんだよという、孤立しないで世代を超えて、縦割りではない仕組みづくりをしてございます。

現在では、まちの中で読み聞かせですとか、赤ん坊が大騒ぎして泣いている時はどうしたらいいのかとか、そのようなことを研究し合っております。

<別添資料 3 ページ参照>

まずは、先ほどから問題に出ている挨拶運動、挨拶したら、変な人に声をかけられたと言われては困るということで、世代を紡ぐというゴム製のベルトですけども、これを小学生にも中学生にも配って、「これを付けている人は安心な人たちですよ」と、地域にアピールするためにキャンペーンを組んでいます。

実は3枚目の挨拶運動のキャンペーンで、岩淵小学校、なでしこ小学校、赤羽岩淵中学校の生徒たちにデザインを考えさせて、先日の志茂のハッピー祭りで発表して表彰した写真がついているものが、その時の入賞者のデザインでございます。最優秀賞をプログラムから取り入れて、色々なグッズを作って、これを地域に配って、このキャンペーンのグッズとして、ティッシュや何かと一緒に配っていこうという取組みでございます。お金がどこから出ているのかというと、国から出ている予算で、数億円出ているという話は聞いておりますので、その研究と一緒に勉強していこうという形になっております。

<別添資料 4 ページ参照>

続きまして、生活支援システムの開発と実装ということで、実は前からこれは「AsMama ウェブシステム」というので、メールでどなたか、今日、子どもを学校から迎えに行ってもよとか、私は今日、これから病院へ行っちゃうので、子どもを夕方、面倒を見てくださいますかとかというのを、ウェブで色々つながっていこうと。実際に「AsMama

のウェブシステム」はワンコインで登録し合ってやっている形で、うちの町会にもこのメンバーが数人います。今日は何だろうと思ったら、ちょっと年の離れた子どもを連れて駅の方から帰ってくるとか、そんなこともやっている次第で、これはやはり絶えずグループを作りますので、顔の見える人たち、全然わからない人たちだけでなくという形を作っております。

多世代の交流の場づくりということで、③のところの下でイベント、絵本ライブという読み聞かせの会、これを一番最初のキックオフイベントとしてやって、大きな反響を呼んだわけでございます。小さな子どもを連れてきて、絵本の読み聞かせをして、システムの発表をしております。先日のハッピー祭りでは写真の缶バッチを子どもたちに作ってあげたり、親子で一緒に写った缶バッチを作って、グッズと一緒に配布しているという訳でございます。

<別添資料5 ページ参照>

続きまして、事業を支える人材の養成ということで、「まち・人・暮らしプロモーター」という形で、まちプロを教育している。1回目の研修が終わりまして、また来年、二期生の研修を実施するというようになっております。その人たちにいろんなイベントでお手伝いしていただいて、縦横というか、年代を超えたつながりの勉強をして、その人たちがプロモートするという形になっております。

協議会の開催につきましては、事務局、北区と研究所の提案するプログラムについて、志茂の東ふれあい館の中で協議会を毎月1回、午前10時から金曜日に開催しております。そこの参加メンバーは、所属先一覧ということで、丸囲みの中に入っておりますけれども、区の方からも介護予防・日常生活支援担当課長と、生涯学習・学校地域連携課長に、オブザーバーとして参加していただいております。

このような形で、地域では安全なまちづくり、また色々な助け合いシステムをつなげていこうという形になっております。やはり先ほどH会長の方からありました挨拶、やはり挨拶が一番基本だということから、第1回目のキャンペーンから始まっております。

やはりこの挨拶、先月、私は新聞で読んだんですけれども、神戸の方のマンションで、マンションの中で子どもたちと挨拶をするとか、挨拶しちやいけないという、マンションの管理組合だか自治組合だかで、そのような決定がされたという新聞記事が載っておりました。だけど、このようなことになって、そのマンションは、私は、多分30年後は孤独死の人がいっぱい出るマンションだねと、つつい、つぶやいてしまったわけでございます。

やはりこのようなことで、地域では顔の見える、絶えず見守り、お互いに声をかけ合うというのが一番大事な事業ではないかなと思っております。このようなことを30年まで続けていこうと思っております。

## ◎区長

毎月1回ですか。

**◎A 連合会長（志茂二丁目町会）**

毎月 1 回やっております。

以上で、志茂地区からのご報告でございます。ありがとうございました。

**◎広報課長**

ありがとうございました。貴重なお話ありがとうございました。皆様に、本当に、1 時間という限られた時間の中で貴重なご意見を多々聞かせていただきましてありがとうございました。定刻を 10 分ほど回りましたけれども、それでは A 連合会長の方から一言、全体を通しておっしゃっていただければと思います。

**◎A 連合会長（志茂二丁目町会）**

皆さんからの貴重なご意見もいただきまして、ありがとうございます。やはり色々な問題を一つ一つ、皆さんで協力して解決していくのがいいのではないかなと思っております。

実は名簿も、私どもは去年、おとし作りしました。その時も、やはり掲示板と回覧板で 3 回ぐらい回しまして、防災上、必要な名簿ですよという旨の、趣旨の趣意書を書きまして、募集いたしました。多分、会員の中の 9 割以上が会員名簿に登録していただきました。条件として、名簿に載せない人には名簿は差し上げませんよという旨も記帳して、会員名簿を作った訳でございます。

やはりそのような有用な研究をしながら、そういう地域の課題をなくしていくのが一番いいことではないかなと思いますので、常任理事の皆様方も、これからも一つご協力のほどをお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

**◎広報課長**

ありがとうございました。

**6. 閉 会**

**◎広報課長**

それでは最後になりますが、本日の「きずなトーク」、閉会のご挨拶を区長の方から申し上げます。お願いいたします。

**◎区長**

閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

本日は皆さんから本当にたくさんの貴重なご意見、ご提案をいただきまして、ありがとうございました。本日のたくさんのご意見、またご提案を北区の今後の区政運営に活かしていきたいなと思っております。どうかこれからもより一層のご理解とご協力を賜りますように、お願い申し上げます。

もう師走に入りました。寒さが日ごとに増しております。どうかお体には十分ご留意いただきまして、また来年、お会いできますように、よろしくお願いいたします。本日の「きずなトーク」、これで終了させていただきます。ありがとうございました。

平成 28 年 12 月 8 日  
きずなトーク（赤羽地区）  
議事要旨

**◎広報課長**

ありがとうございました。

それでは、本日の「きずなトーク」、終了させていただきます。皆様、ありがとうございました。

以上

# 志茂地区における多世代の助け合いの仕組みづくり

『志茂ジェネ ～世代をつむぐプロジェクト～』のご報告



プロジェクトの最新情報をお知らせしています。  
<https://www.facebook.com/ristexgenerativity/>

研究チームの詳細等をご紹介します。  
[i10vinkotobuki.wix.com/mysiteshimogene](http://i10vinkotobuki.wix.com/mysiteshimogene)

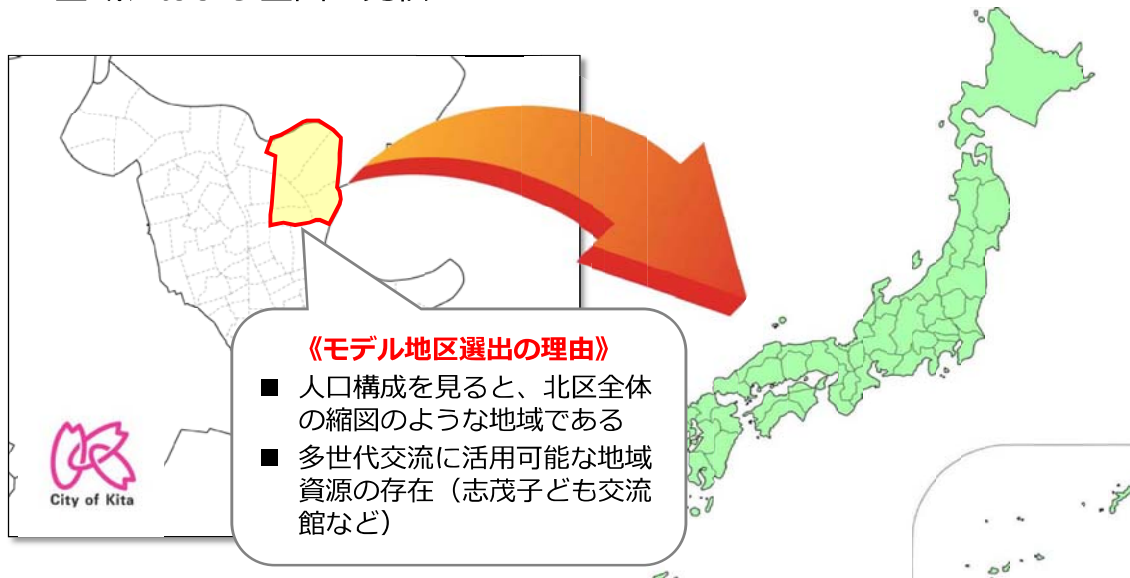


《事務局担当者連絡先》  
東京都健康長寿医療センター研究所  
社会参加と地域保健研究チーム  
村山幸子：sachikom@tmig.or.jp  
田中元基：moto15@tmig.or.jp  
お電話：03-3964-3241（内線：4254）

このプロジェクトは、国立研究開発法人科学技術振興機構平成28年度戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）『持続可能な多世代共創社会のデザイン』研究開発領域の事業として、東京都健康長寿医療センター研究所が助成を受け、北区と協定を結び、推進しています。

## 志茂地区から北区全体、そして全国へ

- 研究開発期間：平成27年10月～平成30年9月
- 期間内に創りあげた多世代の助け合いの仕組みやノウハウを北区全域、および全国へ発信



# どうして『多世代』なのか？

## 子育て世代の課題

子育ての悩みを誰に相談していいのかわからない

子育てについて周りの理解が得られていないように感じる

緊急時に頼れる場所がない

## 高齢者世代の課題

家事や掃除などを手伝ってくれる人が周りにいない

他の世代とどう関われば良いのかわからない

将来に対する不安が大きい

両世代に共通する課題（**孤立による不安・不便・不健康**）を一挙に解決できる方法はないか？

**縦割りではなく、世代を越えて助け合う仕組みづくりを！**

- 異なる世代がお互いに助け合う仕組みをつくることで、**子育てのしやすいまち、高齢になっても暮らしやすいまち**を目指します。



# プログラムは大きく3つあります。

- 以下のプログラム展開を通じて、「**子どもの健やかな成長の喜びを全ての世代が共有できるまち**」の実現を目指します。

## ① 挨拶運動 (キャンペーン)

気軽に声をかけあい、励ましたり相談しやすい地域を目指し、挨拶で地域のつながりをつくります。



## ② 生活支援システムの開発と実装

買い物等の子どもの見守りや、高齢者宅の電球の交換など、ちょっとした困り事を地域の皆さんの相互支援で解決するシステムをつくります。



## ③ 多世代交流の場づくり

子育て世代から高齢者まで、地域の人達が集まって交流し、相談などでもできる「集いの場」づくりを目指しています。



さらに

## 居場所支援

多様な背景を持つ子どもの現状と課題を把握し、安心して過ごすことができる 子どもの居場所をつくります。



# ① 挨拶運動 (キャンペーン)

- 町会・自治会をはじめ、シニアクラブ等の団体への参加者を対象に、**多世代が交流することの重要性を啓発する研修**を実施中

- **学校と連携した挨拶運動 (キャンペーン)** の推進

⇒ 今夏は、なでしこ小学校・岩淵小学校・赤羽岩淵中学校の3校を対象に、キャンペーンで使用するマークを募集

- ▼ 志茂はっぴいまつり(11/19)で表彰



- ▼ キャンペーングッズの製作、配布 (チラシ、ウェットティッシュ、バンドなど)



- ◀ 最優秀賞の作品 (今後、グッズ製作の際に使用する加工デザイン)

## ② 生活支援システムの開発と実装

- 子育て世代と中高年、高齢者世代の困りごとを充足する**全世代対応の相互支援システム（Webシステム）**を開発  
⇒ (株)AsMamaのWebシステムを拡張



- ▲ (株)AsMama (URL: asmama.jp/) 友だちや知り合いと子どもの送迎・託児を頼りあうインターネット上の仕組み「子育てシェア」を運営

- ※ システムを利用するには、**登録者がお互いに顔の見える関係になっていることが必須。**（そのため、知らない人から支援の依頼が来ることはない。）
- ※ システム利用の前提にある「顔の見える関係づくり」のためにも、③多世代交流の場づくりが必要となる。

## ③ 多世代交流の場づくり

- **既存のイベントへの参加、新規のイベントの企画・開催、常設の場の開設（予定）**など、様々な形で多世代交流の場づくりを展開

- ▼ イベント: 絵本ライブ(9/5)の様子



- ▼ 志茂はっぴいまつり(11/19)へ参加 (顔写真入り缶バッジの製作、事業の周知)





# 事業を支える人材の養成

- ②生活支援システムの紹介・利用のサポートや、③多世代交流の場の企画・運営を担う人材を地域で養成

⇒ 「**まち・人・くらしプロモーター**」 (通称「まちプロ」)

- 平成29年度に第二期研修を実施予定

▼ 第一期研修(9/5～10/31)の様子



講義



グループワーク



修了式



受講者

▲ 実地研修(託児)の様子

# 協議会の開催

- 事務局(北区・研究所)の提案するプログラムについて、志茂地区ではどのような形で実現が可能か、地域の皆様と協議しながら事業を進めています。

- 平成28年3月からスタートし、原則月1回のペースで開催中

⇒ 通称「**志茂ジェネ協議会**」

協議会参加メンバー所属先一覧(平成28年11月現在)

町会・自治会	子ども家庭支援センター
青少年地区委員会	高齢者あんしんセンター
民生委員児童委員協議会	志茂地域振興室
介護予防リーダーの会	北区社会福祉協議会
志茂子ども交流館	スクールコーディネーター
シニアクラブ	株式会社ほっこり〜のプラス
北区シルバー人材センター	株式会社AsMama



協議会の様子(場所:志茂東ふれあい館内地域振興室会議室) ▶

平成28年度 きずなトーク議事要旨  
平成29年3月発行

刊行物登録番号 28-1-148

発行

東京都北区政策経営部広報課

東京都北区王子本町一丁目15番22号

電話03(3908)1102